

## ◆ V章 資料編 ◆

### (1) 知的障害特別支援学校 各教科目標及び内容・具体的内容

#### 1. 生活

##### 小学部

目標：日常生活の基本的な習慣を身に付け、集団生活への参加に必要な態度や技能を養うとともに、自分と身近な社会や自然とのかかわりについて関心を深め、自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てる。

##### 〈内 容〉

小学部1段階	小学部2段階	小学部3段階
1 日常生活に必要な身辺処理を求めたり、教師と一緒に رفتりする。	1 教師の援助を受けながら日常生活に必要な身辺処理をする。	1 日常生活に必要な身辺生活の処理を自分でする。
2 教師と一緒に健康で安全な生活をする。	2 教師の援助を受けながら健康で安全な生活をする。	2 健康や身体の変化に関心をもち、健康で安全な生活をするように心掛ける。
3 教師や友達と同じ場所で遊ぶ。	3 教師や友達と簡単なきまりのある遊びをする。	3 友達とかかわりをもち、きまりを守って仲良く遊ぶ。
4 教師と一緒に身近な人に簡単なあいさつをする。	4 教師の援助を受けながら身近な人にあいさつや話をするなどのかかわりをもつ。	4 身近な人と自分とのかかわりが分かり、簡単な対応などをする。
5 教師と一緒に集団活動に参加する。	5 集団活動に参加し、簡単な係活動をする。	5 進んで集団生活に参加し、簡単な役割を果たす。
6 教師と一緒に簡単な手伝いや仕事をする。	6 教師の援助を受けながら簡単な手伝いや仕事をする。	6 日常生活で簡単な手伝いや仕事を進んでする。
7 教師と一緒に日常生活の簡単なきまりに従って行動する。	7 日常生活に必要な簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動する。	7 日常生活に必要な簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動する。
8 教師と一緒に日課に沿って行動する。	8 教師の援助を受けながら日課に沿って行動する。	8 日常生活でのおよその予定が分かり、見通しをもって行動する。
9 教師と一緒に簡単な買い物をする。	9 決まった額の買い物をして、金銭の必要なことが分かる。	9 簡単な買い物をして、金銭の取扱いに慣れる。
10 身近な自然の中で、教師と一緒に遊んだり、自然や生き物に興味や関心をもちたりする。	10 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。	10 身近な自然の事物・現象に興味や関心を深め、その特徴や変化の様子を知る。
11 家族や家の近所などの様子に興味や関心をもち。	11 家族の役割や身近な地域の様子に興味や関心をもち、自分と家族や社会とのかかわりに気付く。	11 家庭や社会の様子に興味や関心を深め、その働きを知る。
12 身近な公共施設や公共物を教師と一緒に利用する。	12 教師の援助を受けながら身近な公共施設や公共物などを利用する。	12 身近な公共施設や公共物などを利用し、その働きを知る。

##### 〈具体的内容〉

小学部1段階	小学部2段階	小学部3段階
<b>1 基本的生活習慣</b>	<b>1 基本的生活習慣</b>	<b>1 基本的生活習慣</b>
1 教師と一緒に直前の手洗いをする。	1 一人で食前に手洗いをする。	1 簡単な食事の準備や後片付けをする。  2 魚の細かい骨をより出して食べる。
2 配膳の時に静かに待つ。	2 自分の食器を並べたり片付けたりする。	
3 教師と一緒に自分の食器を並べたり、片付けたりする。	3 食前・食後のあいさつをする。	
4 食前、食後のあいさつのしぐさをする。	4 スプーン・フォークやはしを使ってこぼさないように食べる。	
5 スプーン・フォークやはしを使って食べる。	5 ストローやコップでスムーズに飲む。	
6 ストローやコップで飲む。		

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階
7 茶わんなどを押さえて食べる。	6 必要があれば、茶わんなどを手に持って食べる。	
8 好き嫌いをしないで食べる。	7 主食と副食を取り合わせて食べる。	3 好き嫌いをしないで、よく噛んで食べる。
9 食事の途中で遊ばないで食べる。	8 食事中立ったりせず、行儀よく食べる。	4 マナーを守って食事をする。
10 食べてはいけないと言われたものは食べない。		
11 食事の後、指示されて手や口の周りをふく。	9 食後一人で手や口のまわりをふく。	5 食べたい献立の名前を言う。
	10 簡単な献立の名前を言う。	6 一人で調味料を上手に使い分ける。
12 教師と一緒に、こぼしたものをふく。	11 しょうゆなどの調味料を上手に使う。	
13 一定時刻に、教師と一緒に用便に行く。	12 教師と一緒に、食事の前後にテーブルをふく。	7 一人で用便に行き、用をたす。
14 尿意、便意、粗相をしぐさなどで告げる。	13 できるだけ一人で便所に行き用をたす。	8 便所を汚さないで使う。
15 パンツやズボンなどを脱がせてもらってから、用をたす。		
	14 男女の便所を区別して用をたす。	9 便所のいろいろな標示に従って用をたす。
	15 便所に入るときはノックをし、ドアを閉めて用をたす。	
	16 用便後自分でふき、服装を整える。	
	17 水洗便所ときは、使用後水を流す。	
16 教師と一緒に用便後の手洗いをする。	18 用便後の手洗いをする。	10 自分の家や、学校以外の便所も一人で使う。
		11 出掛ける前に、休み時間などには自分から用をたす。
	19 指示されて、決まった時刻に寝起きする。	12 決まった時刻に寝起きする。
17 大人と一緒に、パジャマに着替える。	20 一人でパジャマに着替える。	13 着替えた衣服を整理する。
18 指示されて、寝る前に用便に行く。	21 寝る前に一人で用便に行く。	14 夜中でも、一人で用便に行く。
19 一人で寝る。		
20 寝る前にしぐさなどであいさつする。	22 寝る前と起きたときにあいさつをする。	15 自分から寝る前と起きたときのあいさつをする。
	23 大人と一緒に、自分の布団を敷く。	16 大人と一緒に、布団の上げ下ろしをする。
21 教師と一緒に、歯磨きや洗面をする。	24 一人で歯磨きや洗面をする。	17 自分から進んで歯磨きや洗面をする。
22 教師と一緒に、手足を洗ったりふいたりする。	25 一人で手足を洗ったり、ふいたりする。	
23 教師と一緒に、鼻汁をふき取る。	26 一人で鼻汁をかむ。	
24 いつもハンカチやちり紙を持つ。	27 一人でハンカチやちり紙を使う。	18 ハンカチやちり紙を自分で用意する。
25 嫌がらずに、髪をとかしてもらう。	28 教師と一緒に髪をとかす。	19 一人で髪をとかす。
26 嫌がらずに、爪切りや耳あか取りをしてもらう。	29 教師と一緒に爪を切る。	20 一人で爪を切る。
	30 体育や衣服の汚れを理解する。	21 一人で散髪に行く。
27 用便を済ませてから入浴する。		22 湯かげんをみてから浴槽に入る。
		23 股間や手足などを洗ってから入浴する。
28 教師と一緒に体を洗う。	31 教師と一緒に、体や髪を洗う。	24 一人で入浴し、自分から体を洗う。
29 嫌がらずに、髪を洗ってもらう。		25 一人で髪を洗う。
30 教師と一緒に自分の体をふく。		26 入浴後、よく体をふく。
	32 入浴後教師と一緒に、道具を片付ける。	27 入浴後、用具の片付けをする。

小学部 1 段階		小学部 2 段階		小学部 3 段階	
31	教師と一緒に簡単な衣服の着脱をする。	33	簡単な衣服の着脱をする。	28	そで、えり、すそなどを整える。
32	教師の声掛けを聞きながら、一緒に着脱をする中で、衣服の前後表裏などに関心をもつ。	34	衣服の前後、表裏に注意して着脱する。	29	自分の衣服の始末をする。
		35	教師と一緒に、脱いだ衣服をたたむ。	30	衣服の汚れやほころびに気付いて、自分から着替える。
		36	ハンガーなどを使って衣服を始末する。	31	寒暖や天候に合わせて衣服を調節する。
33	靴を一人で履いたり脱いだりする。	37	靴の左右を区別したり、脱いだ靴をそろえたりする。	32	運動の時は、体操着など決められた服装をする。
34	自分の帽子、洋服、かばん、靴などが分かり、教師と一緒に決められた所に置く。	38	自分の帽子、衣服、かばん、靴などを決められた所に置く。	33	いろいろな衣類や履物を天候に合わせて選ぶ。
				34	雨具を使用したり、始末したりする。
				35	自分の衣服や持ち物を、決められた場所に、整とんして置く。
				36	机の引き出しやロッカーなどを、上手に使用する。
				37	普段使わないリュックサックやバックなどを適切に使用する。
2 健康・安全		2 健康・安全		2 健康・安全	
1	けがをした時など、教師と一緒に保健室に行く。	1	病気やけがなどを教師に告げる。	1	友達のけがなどを教師に知らせる。
		2	身体測定の結果に関心をもつ。	2	一人で保健室を利用する。
2	教師に付き添われて、健康診断や予防接種を受ける。			3	身体測定の結果が分かり、自分の体の成長に関心をもつ。
		3	自分の手の汚れを見て、手洗いをする。	4	進んで、健康診断や予防接種を受ける。
3	外から帰った時など、教師の指示でうがい・手洗いをする。	4	外から帰った時など、うがい・手洗いをする。	5	病気やけがをした時は、落ち着いて治療を受ける。
4	周りにあるビー玉や硬貨などを口に入れない。			6	生理のときは教師に告げ、対応する。
5	ストーブなど危険な物のそばでは遊ばない。	5	物を投げたり高い所へ登るなどの危険な遊びをしない。	7	外から帰った時やかぜをひいた時は、進んでうがい・手洗いをする。
6	階段など、段差に気を付けて転ばないように歩く。			8	危険物や危険箇所をよく理解し、その周辺で遊ばない。
7	刃物や器具類は、ひとりでは扱わない。	6	ガス栓、刃物などの危険な物に必要以上に触れない。	9	電気器具、ガス栓、刃物などを安全に取り扱うことに慣れる。
		7	知らない人について行かない。	10	火災報知器や消火器に、必要以上に触れない。
8	交通信号に注意しながら、教師と一緒に道路を歩く。			11	交通信号の見方が分かり、信号に従う。
9	教師と手をつなぎに、道路を安全に歩く。	8	道路を歩く時には、自動車や自転車に気を付ける。	12	道路は右側を歩き、歩道のある場合は、歩道を歩く。
		9	道路を何人かで歩く時は、横に並んだり、ふざけたりしない。		
10	教師と一緒に片手を上げて横断歩道を渡る。	10	道路を横断するときは、左右を確かめ、手を上げて渡る。	13	「通行止」、「横断禁止」、「危険」などの標識が分かり、指示を守る。
				14	交通の頻繁な道路では遊ばない。
		11	道路を横断するときは、歩行者用信号の所や歩道橋を渡る。		

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階
11 教師と一緒に避難訓練に参加する。	12 踏切の警報機の意味を知りそれに従う。 13 道路へ急に飛び出さない。 14 避難訓練の時、教師の指示に従い、友達と一緒に行動する。	15 避難の時担任以外の教師の指示にも進んで従う。 16 部屋の換気や採光に注意する。
<b>3 遊び</b>	<b>3 遊び</b>	<b>3 遊び</b>
1 一人で好きなことをして遊ぶ。 2 教師や友達と同じ場所で安定して遊ぶ。 3 テレビや絵本など、教師と一緒に楽しむ。 4 おもちゃなど身近にある物で遊ぶ。 5 トランポリン、ぶらんこ、滑り台などで遊ぶ。	1 教師と簡単なごっこ遊びをする。 2 テレビや絵本に関心を持ち、楽しんで見る。 3 じゃんけんのしぐさをして遊ぶ。 4 鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊びをする。 5 順番や交代の意味が分かり、わがままを言わないで遊ぶ。  6 玉入れ、カルタ取りなどで遊ぶ。 7 簡単な遊具で遊ぶ。  8 シーソー、鉄棒などで遊ぶ。 9 補助輪付きの自転車に乗って遊ぶ。 10 言い聞かされて、遊具などを譲る。 11 自分の使っている遊具などを取られそうになると、返してもらおうとする。	1 友達と一緒にいろいろな遊びをする。 2 テレビの番組を自分で選んで見る。 3 遊びにじゃんけんを使う。 4 自分で遊びを選んだり、考えたりする。 5 グループを作り、約束を守って遊ぶ。 6 仲間に入れない友達を誘って、一緒に遊ぶ。 7 自分たちで簡単な遊具を作って遊ぶ。 8 補助輪のない自転車に乗って遊ぶ。 9 遊具などを譲り合って使う。 10 皆で使う遊具などを大切にする。
6 三輪車などに乗って遊ぶ。	12 指示されて、遊具などの後始末をする。	11 進んで遊具などの後始末をする。 12 室内の遊びと、室外の遊びを区別する。
7 教師と一緒に遊具などの後始末をする。		
<b>4 交際</b>	<b>4 交際</b>	<b>4 交際</b>
1 自分の名前が呼ばれたら振り向く。 2 必要な時に、自分の名前を言う。  3 教師や友達の名前を言う。 4 友達と手をつなぐ。 5 教師と一緒に「おはよう」「さようなら」などのあいさつをする。	1 自分の家族の名前を言う。 2 自分の学校の教師など身近な人の名前を言う。 3 身近な人に自分から「おはよう」「さようなら」などのあいさつをする。 4 聞かれば、教師に、見たこと、聞いたこと、遊んだことを話す。 5 人の来訪を教師に告げるなど、初歩的な伝言をする。	1 簡単な自己紹介をする。 2 自分の住所を言う。 3 自分の家の電話番号を言う。 4 身近な人に日常的に簡単なあいさつをする。 5 見たこと、聞いたこと、遊んだことを教師や友達などと話し合う。 6 電話や来客があった時は、取り次ぎをする。 7 友達の過ちをむやみにとがめない。 8 「ありがとう」「ごめんなさい」を相手に分かるように、適切に言う。 9 困っている友達を手伝ったり、友達との約束を守ったりする。 10 年賀状や礼状などの手紙を出す。
6 お客さんや電話に関心をもつ。	6 なるべく言葉で「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。 7 指示されて、友達の手助けをする。 8 手伝ってもらって、年賀状などを書く。	
7 指示されて「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。		
<b>5 役割</b>	<b>5 役割</b>	<b>5 役割</b>
1 教師と一緒に遠足、運動会などに参加する。 2 教師と一緒に、あいさつ係や黒板ふき係などの係活動をする。	1 誕生会や学級会などで、簡単な役割をする。 2 運動会や誕生会などで、教師と一緒に簡単な係活動をする。	1 誕生会や学級会などで、司会などの役割を果たす。 2 運動会や誕生会などで、簡単な係活動をする。

小学部1段階		小学部2段階		小学部3段階	
3	教師と一緒に、地域の行事に参加する。	3	教師と一緒に地域の行事に参加し、簡単な役割を果たす。	3	友達と一緒に地域の行事に参加して楽しむ。
4	給食の時に、教師と一緒に食器を並べたり、牛乳を配ったりなどの係活動をする。	4	教材配りや給食運びなどの係活動をする。	4	日直、給食当番、掃除当番などの係活動をする。
5	教師と一緒に簡単な作業をする。	5	簡単な作業を皆と一緒にする。	5	おおまかに分担された作業をする。
<b>6 手伝い・仕事</b>		<b>6 手伝い・仕事</b>		<b>6 手伝い・仕事</b>	
1	教師と一緒にロッカーなどを整頓する。	1	学級で配布物などの手伝いをする。	1	他教室へ伝言に行く。
2	教師と一緒に窓の開閉などをする。	2	他教室へ教材を届けたり、取りに行ったりする。	2	掃除用具、運動用具、図書などの整理整頓をする。
3	教師と一緒にごみを拾ったり、ごみ箱のごみを捨てに行ったりする。	3	できるだけ一人で、机やロッカーの整とんをする。	3	学級の友達の履物をそろえる。
4	教師と一緒に学習用具などの片付けをする。	4	窓の開閉などの手伝いをする。	4	窓の開閉、戸締まりなどをする。
		5	簡単な掃除をする。	5	決められた場所の掃除をする。
		6	仕事に使う簡単な道具や器具の扱いに慣れる。	6	仕事に使う道具や器具に慣れる。
		7	仕事で使用した道具の後片付けをする。	7	道具や器具を安全に且つ大切に扱う。
				8	仕事や手伝いが終わったら報告する。
				9	草花や飼っている動物の世話をする。
<b>7 決まり</b>		<b>7 決まり</b>		<b>7 決まり</b>	
1	始業、終業、給食などの合図を聞いて行動する。	1	登下校の際は、道草や寄り道をしない。	1	学校の日課にそって生活する。
2	集合、整列、着席などの指示に従う。	2	廊下は右側を歩く。	2	学校などで簡単な決まりを相談してつくる。
3	上履き、下履きの区別をし、決まった場所で履き替える。	3	起床、就寝、登校、下校時刻などを知り、それを守る。	3	登校・下校の時刻を守る。
4	ごみはごみ箱に捨てる。	4	遠足などのときは、ごみの始末をする。		
5	自分の物と他人の物を区別する。	5	他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。		
6	乗り物の中では、歩きまわったり騒いだりしない。	6	停留所や駅などでは、並んで順番を待つ。		
		7	順番を守って、乗り物の乗り降りをする。	4	集会や校外学習などの時は、集団行動に必要なきまりを進んで守る。
		8	集会や校外学習などの時は、指示に従って行動する。	5	公園や遊園地などの決まりを守る。
		9	決められた場所で遊ぶ。	6	火災報知器や非常電話などをいたずらしない。
				7	貴重品や書類に触れたり、それらを持ち出したりしない。
				8	落とし物を拾ったときは、教師に届けたり、落とし主に渡したりする。
<b>8 日課・予定</b>		<b>8 日課・予定</b>		<b>8 日課・予定</b>	
1	教師と一緒に日課に沿って行動する。	1	教師の声かけを聞いて、できるだけひとりで行動する。	1	一週間程度の予定がわかり、カレンダーや予定表を見て、予定に従って行動する。
2	教師の声かけを聞いたり、手をとってもらったりしながら、一緒に日課に沿って行動する。	2	次の行動を、絵や写真で示したカード等を見て、できるだけひとりで行動する。	2	予定が変更しても対応することができる。

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階
	3 下校後の予定, 明日の予定などに見通しをもつ。	
9 金銭	9 金銭	9 金銭
1 お金が必要なものであることが分かり粗末に扱わない。 2 お年玉や小遣いを大切にする。 3 教師と一緒に, 簡単な買い物をする。 4 教師と一緒に自動販売機を利用して, 関心をもつ。	1 10円, 50円, 100円, 500円, 1,000円などの硬貨や貨幣を使って買い物をする。 2 「これ」「ください」など, 買い物に必要な簡単な言葉を使う。 3 小額で, 決まった額の買い物を一人でする。 4 自分でお金を投入するなど, 教師と一緒に自動販売機を利用する。	1 生活にはお金が必要なことを知り, 使い途を考えて使い, 無駄遣いをしない。 2 「いくらですか」「〇個ください」など買い物に必要な言葉を使う。 3 簡単なおつりのある買い物をする。 4 学用品などのおよその値段が分かって買い物をする。 5 簡単な自動販売機を利用する。 6 小遣いを旅行先の土産の購入など自分で考えて使う。 7 必要に応じて郵便局や銀行に預金する。
10 自然	10 自然	10 自然
1 教師と一緒に, 公園, 川野山, 海などで遊ぶ。 2 教師と一緒に, 木の実拾い, 落ち葉拾い, 石拾いなどをして遊ぶ。 3 教師と一緒に, あり, ちょうなどを探したり, 見たりして遊ぶ。 4 草花に興味をもつ。 5 動物園, 牧場などで遊び, 動物に興味をもつ。 6 太陽, 月, 星などに関心をもつ。 7 晴, 雨などの天気に関心をもつ。 8 シャボン玉, 風車などの遊びをする。	1 草木, 木の実, 落ち葉など, 摘んだものや拾ったものを使って遊ぶ。 2 身近にいる昆虫, 魚貝などを見たり, 採ったりする。 3 身近にいる小動物に餌をあげるなどしてかわいがる。 4 草花の球根などを植えて育てる。 5 蚊やはえなどの害虫に関心をもつ。 6 太陽, 月, 星などと昼夜とのかかわりに関心をもつ。 7 冬は寒く, 夏は暑いなどの季節の特徴に関心をもつ。 8 紙飛行機, 舟などを作って遊ぶ。 9 磁石や乾電池などを使って遊ぶ。	1 身近にいる昆虫, 魚, 小鳥などを観察する。 2 草花や野菜などを栽培し, 観察する。 3 蚊やはえなどの害虫を駆除する。 4 体の主なつくりや働きに関心をもつ。 5 太陽の出没の方角や月の満ち欠けなどを観察する。 6 四季の変化に関心をもつ。 7 テレビの天気予報に関心をもつ。 8 地震や台風などに関心をもつ。 9 水鉄砲, 糸電話, たこなどを作って遊ぶ。 10 鏡や虫眼鏡などを使って遊ぶ。 11 電灯のスイッチ, 懐中電灯などを正しく操作する。
11 社会の仕組み	11 社会の仕組み	11 社会の仕組み
1 父, 母, 兄弟, 姉妹, 祖父, 祖母たちと楽しく仲よく過ごす。 2 身近で働く人に関心をもつ。 3 教師と一緒に近くの駅や消防署などに行き, 関心をもつ。	1 親せきの人, 近所の人の名前が言える。 2 家の人の職業が言える。 3 いろいろな種類の店の名前が言え, そこで販売している商品に関心をもつ。 4 学校や家の近くの交番や, 停留所, 駅のおよその場所が言える。	1 いろいろな職業の名称が言える。 2 いろいろな店で売っている品物の名前が言える。 3 商品にかかわり, それらを生産している工場や農家にも関心をもつ。

小学部1段階		小学部2段階		小学部3段階	
4	救急車や消防車の名前が言える。	5	救急車や消防車の働きが言える。	4	警察署, 消防署, 郵便局, 病院, 市役所, 町・村役場などのおよその仕事の様子が話せる。
		6	自分の住んでいる町や村の山, 川, 海などについて, 簡単に話せる。	5	いろいろな地域の主な特徴に関心をもつ。
		7	自分の住んでいる市・町・村が言える。	6	都道府県名が幾つか言える。
		8	身近な社会の行事に関心をもつ。	7	社会の行事, 祝日のおよその意味が分かり, 話しができる。
		9	バスやトラックなど身近な乗り物の種類が言える。	8	テレビなどで, 身近な社会の大きな出来事に関心をもつ。
				9	自動車や電車には, 人を乗せるもの, 荷物を運ぶものなど, いろいろな種類のあることを, 簡単に話せる。
				10	自分の国の名や世界の幾つかの国の名が言える。
12 公共施設		12 公共施設		12 公共施設	
1	教師と一緒に, 学校の近くの公園や遊園地で遊ぶ。	1	遊園地などに行き, 気に入った遊具で自ら進んで遊ぶ。	1	公園や遊園地を上手に利用する。
		2	自宅や学校内の電話の扱いに慣れる。	2	公園や遊園地の自然や遊具を大切にし, ゴミはゴミ箱に捨てる。
		3	学校の近くのポストに手紙を投函する。	3	公衆電話の扱いに慣れる。
				4	はがきや切手の種類が分かり利用する。
				5	教師と一緒に, 郵便局を利用する。
				6	火事や事故の時, 119番や110番に連絡する。
				7	道順を交番などで尋ねる。
2	教師と一緒にバスを利用し乗り降りの際に料金を支払う体験をする。	4	教師と一緒に, 電車やバスの切符を買う。	8	日常的に利用している電車やバスの切符を自動券買機などで買う。
3	通学の電車やバスに乗ることに慣れる。	5	通学の電車やバスに乗せてもらって, 自分から目的地で降りる。	9	通学の電車やバスを一人で利用する。

## 2. 国 語

小学部	中学部	高等部
<p>目標：日常生活に必要な国語を理解し、伝え合う力を養うとともに、それらを表現する能力と態度を育てる。</p>	<p>日常生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを活用する能力と態度を育てる。</p>	<p>生活に必要な国語についての理解を深め、伝えあう力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。</p>

### 〈内 容〉

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
<p>1 教師の話の聞いたり、絵本などを読んだりする。</p> <p>2 教師などの話し掛けに応じ、表情、身振り、音声や簡単な言葉で表現する。</p> <p>3 教師と一緒に絵本などを楽しむ。</p> <p>4 いろいろな筆記用具を使って書くことに親しむ。</p>	<p>1 教師や友達などの話し言葉に慣れ、簡単な説明や話し掛けが分かる。</p> <p>2 見聞きしたことを簡単な言葉で話す。</p> <p>3 文字などに関心をもち、読もうとする。</p> <p>4 文字を書くことに興味をもつ。</p>	<p>1 身近な人の話を聞いて、内容のあらましが分かる。</p> <p>2 見聞きしたことのあらまじや自分の気持ちなどを教師や友達と話す。</p> <p>3 簡単な語句や短い文などを正しく読む。</p> <p>4 簡単な語句や短い文を平仮名などで書く。</p>	<p>1 話のおよその内容を聞き取る。</p> <p>2 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などを相手に分かるように話す。</p> <p>3 簡単な語句、文及び文章などを正しく読む。</p> <p>4 簡単な手紙や日記などの内容を順序立てて書く。</p>	<p>1 話の内容の要点を落とさないように聞き取る。</p> <p>2 目的や場に応じて要点を落とさないように話す。</p> <p>3 いろいろな語句、文及び文章を正しく読み、内容を読み取る。</p> <p>4 手紙や日記など目的に応じて正しく書く。</p>	<p>1 話し手の意図や気持ちを考えながら、話の内容を適切に聞き取る。</p> <p>2 自分の立場や意図をはっきりさせながら、相手や目的、場に応じて適切に話す。</p> <p>3 目的や意図などに応じて文章の概要や要点などを適切に読み取る。</p> <p>4 相手や目的に応じていろいろな文章を適切に書く。</p>

### 〈具体的内容〉

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
<p>1 声のする方に振り向いたり、耳を傾けたりする。</p> <p>2 教師の話し掛けに表情や身振りで応答する。</p> <p>3 教師や友達と一緒に絵本やテレビ、紙芝居などを見て楽しむ。</p> <p>4 テレビや絵本や紙芝居などに知っているものが出てくると、それを認めて反応する。</p>	<p>1 教室などで、話をする人の方をみて聞く。</p> <p>2 友達からの働き掛けや呼び掛けに対して応答する。</p> <p>3 簡単な童話、放送などを楽しく聞く。</p> <p>4 絵本、紙芝居、漫画、ビデオ、テレビ、映画などを見たり聞いたりし、興味のあるものに言及したり動作で表わしたりする。</p>	<p>1 話を終わりまで聞く。</p> <p>2 物語などを聞いて、おおよその内容が分かる。</p> <p>3 教師などの説明、友達の話や簡単な放送や録音を聞いて、内容のあらましが分かる。</p> <p>4 話を終わりまで注意して聞いたり、分からないことを聞き返したりする。</p>	<p>1 教師などの説明や友達の話などを聞き、大体の内容が分かる。</p> <p>2 物語、劇、映画、テレビなどを見たり聞いたりして楽しみ、簡単な感想を話す。</p> <p>3 簡単な放送などの内容が分かる。</p> <p>4 簡単なメモをとりながら、指示や説明を聞く。</p> <p>5 実習などで、指示や説明などを聞き取って行動する。</p>	<p>1 物語、劇、放送などを見たり聞いたりして楽しみ、感想を話す。</p> <p>2 物語や放送の内容が分かる。</p> <p>3 必要な場合はメモをとるなどして、指示や説明を正しく聞き取る。</p> <p>4 話の内容の要点を落とさないように聞き取る。</p>	<p>1 物語や小説などを読んだり、テレビや映画などを見たりして楽しみ、感想を話したり書いたりする。</p> <p>2 物語などを聞いて、登場人物の気持ちや情景が分かる。</p> <p>3 指示や説明を聞き取り、適切に行動する。</p> <p>4 話し手の意図や気持ちを考えながら、内容を適切に聞き取る。</p>

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
5 好きな絵本や紙芝居を読んでもらって楽しむ。	5 絵本や簡単な紙芝居やビデオなどを見たり聞いたりして、楽しむ。				5 テレビ、ラジオなどから、必要な情報を得る。
6 立つ、座る、集まる、歩くなどの簡単な指示が分かる。	6 教師からの簡単な指示や説明を聞いて、できるだけそのとおりに行動する。	5 簡単な指示を聞き取り、それに沿って行動する。			
7 「いけない」と言われるとそれが分かる。	7 話し合いの時など、相手の話を終わりまで静かに聞く。				
8 身振りや音に対して反応を示す。					
9 音や身振りを模倣する。					
10 自分の名前を呼ばれたら、振り向いたり返事をしたりする。					
11 教師などの話し掛けに応じ、音声や簡単な言葉で応答する。		6 身近なものや興味あるものの名前を言う。			
	8 自分の名前を伝える。	7 教師や友達の名前を言う。	6 状態や動作を表す言葉を使う。		
12 簡単なごっこ遊びをしながら、自由に聞いたり話したりする。	9 教師や友達に話し掛けたり、働き掛けたりする。				6 自分の意見をはっきりさせて話す。
13 要求があると、身振りや声で表現する。	10 自分の経験したことや見聞きしたことを、簡単な言葉で話す。	8 見聞きしたことや経験したことのあらましを、家の人や教師などに話す。	7 事柄の順序をたどって、経験したことを話す。	5 経験したことを相手に分かるように、できるだけ要点を落とさずに話す。	7 経験したことを、擬声語や擬態語も交えて、豊かな表現で話す。
			8 人に尋ねられた時は、はっきりと応答する。	6 場に応じた適切なあいさつや応答をする。	8 相手や場にふさわしいあいさつや応答をする。
		9 話し合いや学級会などで、聞き手の方を向いて、はっきり話す。	9 学級会、生徒会などで、自分の意見を皆に分かるように話す。	7 学級会、生徒会などで、人の意見を聞き取り、自分の意見を話す。	9 学級会、生徒会などで、人の意見に関連させて、自分の意見を述べる。
14 表情や身振りで依頼や訴えを表す。	11 簡単な伝言を伝える。	10 教師や家の人などに、ポイントを落とさず簡単な伝言をする。	10 要点を押さえて話をする。	8 要点を落とさずに、要領よく話をする。	10 用件を筋道を立てて正確に話す。
15 簡単な言葉で依頼や訴えを表す。	12 要点などを言葉で表す。	11 分からない時は、尋ねる。			
		12 自分の意見や希望の大体を発表する。			
	13 友達と一緒に簡単なせりふのある劇をする。	13 友達と一緒に、簡単な劇などをする。			

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
	14: 幼児語を使わないで話す。	14: 必要な時には、丁寧な言葉遣いで話す。	11: 必要な時には、丁寧な言葉を使ったり、適切な言葉を使ったりする。	9: 敬語を適切に使う。	11: 相手に応じた、敬語や言葉遣いを考える。
		15: 電話で身近な人と話す。	12: 自分の家に電話をかけたりして、電話の応答に慣れる。	10: 電話で応答し必要に応じて伝言を受ける。	12: 尊敬語、謙譲語を適切に使って話す。
16: 絵本などに出てくる身近な事物などを興味をもって見る。	15: 絵本やテレビ漫画などに、何回も出てくる平仮名に関心を示し、読もうとする。	16: なるべく正しい発音で話す。	13: 電話の種類と使い方を知る。		13: 電話の取り次ぎや適切な応答をする。
17: 好きな本を自分で探し、読んでもらって楽しむ。					14: 携帯電話やファックスで相手と通信する。
18: 簡単なストーリーの絵本を見たり、読んでもらったりすることを喜ぶ。		17: 絵本ややさしい読み物を読むことに興味をもつ。	14: やさしい物語や、詩などを読んで楽しむ。	11: 日常生活でよく使われる外来語が分かる。	15: 小説やエッセイなど好きな読みものを読んで楽しむ。
			15: 国語辞典に関心をもつ。	12: いろいろな読み物を読んで楽しむ。	16: 国語辞典、百科辞典などを活用し、必要なことを調べる。
				13: 辞典などを活用する。	17: 必要に応じて図書室を利用する。
19: 靴箱、帽子掛けなどの自分のマークが分かる。	16: 身近な生活の中で、何回も目にする標識や看板、広告などに関心を寄せる。	18: 校内の危険な箇所を示す表示が分かる。	16: よく目にふれる標識、看板、ポスターなどの意味が分かる。	14: 日常生活に必要な標識、看板、表示などをできるだけ正しく読み取る。	18: 標識、看板、広告、立て札などを読んで適切な行動をする。
20: 自分の名前が大体区別できる。	17: 自分の名前が文字が分かる。	19: 教師や友達の名前を読む。	17: ローマ字に関心をもつ。	15: 日常生活に必要な伝票、領収書、諸届け、申し込み書などの記入の仕方が分かる。	19: 生活で使われる機械、器具、情報通信機器、医薬品などの説明書を読み取り、適切に利用する。
		20: 促音、長音などの含まれた語句や短い文を正しく読む。	18: 新聞や雑誌などの興味のあるところを読む。	16: 日常生活で使われている器具や医薬品などの簡単な説明書が分かる。	20: 日常生活に必要な伝票、領収書、通知書などの意味が分かる。
21: 絵本などに出てくる平仮名に関心を示す。	18: 平仮名で書かれた語句を読む。	21: 片仮名やよく見られる簡単な漢字を読む。	19: 日常生活に必要な伝票、領収書、説明書などが分かる。	17: 日常生活でよくふれる外来語の標識が分かる。	21: 外来語や片仮名の表示を読み適切に行動する。
		22: 生活の中で見られる簡単な表示や標識の意味が分かる。		18: 新聞や雑誌などを見たり、読んだりする。	22: 新聞や雑誌を読み、必要な情報を得る。
					23: アルファベットで表される略語が分かる。(CD、BS 等)

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
22: クレヨンなどいろいろな用具でなぐり書きをする。	19: 点線の上をなぞって書く。  20: 簡単な形をまねて書く。  21: 文字を書くことに興味をもつ。  22: 鉛筆などを正しく持ち、正しい姿勢で書く。  23: 平仮名の簡単な語句を書写する。  24: 自分の名前を平仮名で書く。	23: 進んで文字を書こうとする。  24: 簡単な語句や短い文を平仮名で書く。(濁音・半濁音等)  25: 簡単な絵日記を書く。  26: 自分の名前などを漢字で書く。  27: 教師と一緒に簡単な手紙を書く。	20: 見聞きしたことや経験したことについて、できるだけ順序立てて書く。  21: 簡単な手紙文や日記、連絡文などを書く。  22: 句点、読点などに注意して書く。  23: よく使われる簡単な漢字の書き方や使い方が分かる。  24: 長音、拗音、促音、撥音、助詞などを正しく読んだり書いたりする。  25: コンピュータによる文書作成に興味をもつ。	19: 経験した事柄を順序立てて、要領よく書く。  20: 手紙や電子メールを読んだり、書いたりする。  21: 毎日、日記を書く。  22: 目的に沿って要点的にメモする。  23: 句読点、かぎなどの正しい使い方に慣れる。  24: よく使われる漢字の書き方や使い方が分かる。  25: コンピュータを使って漢字、仮名交じり文を作成する。  26: ペンや毛筆などを使って書写する。  27: 自分の履歴書などを手本を見て書き写す。	24: 詩や短歌、俳句などに親しむ。  25: 経験した事柄を順序を立てて自分の意見や感想を交えながら効果的に書く。  26: 句読点、かぎなどを使って文章を書く。  27: 漢字や片仮名を正しく使って文章を書く。  28: 手紙の目的に応じて、筆記用具を変えたりして、工夫して書く。  29: 生活の中で使われる伝票、領収書、諸届け、申し込み書を正確に記入したりコンピュータを使って文書を作成したりする。  30: 自分の履歴書を様式に従って正しく書く。  31: 電子メールで通信する。

### 3. 算数・数学

小学部	中学部	高等部
-----	-----	-----

目標：具体的な操作などの活動を通して、数量や図形などに関する初歩的なことを理解し、それらを扱う能力と態度を育てる。

日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解を深め、それらを扱う能力と態度を育てる。

生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。

#### 〈内 容〉

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 具体物があることが分かり、見分けしたり、分類したりする。	1 身近にある具体物を数える。	1 初歩的な数の概念を理解し、簡単な計算をする。	1 日常生活における初歩的な数量の処理や計算をする。	1 日常生活に必要な数量の処理や計算をする。	1 生活に必要な数量の処理や計算をする。
2 身近にあるものの大小や多少などに関心をもつ。	2 身近にあるものの長さやかさなどを比較する。	2 身近にあるものの重さや広さなどが分かり、比較する。	2 長さ・重さなどの単位が分かり、測定する。	2 長さ・重さなどの単位の関係が分かり、測定する。	2 長さ・重さ・量などの測定方法を理解し、活用する。
3 身近にあるものの形の違いに気付く。	3 基本的な図形や簡単な図表に関心をもつ。	3 基本的な図形が分かり、その図形を描いたり、簡単な図表を作ったりする。	3 図表の特徴や図表の内容を理解し、作成したりする。	3 図形を正しく作図したり、表やグラフを工夫して作ったりする。	3 様々な図形、表やグラフを理解し、工夫して使う。
	4 一日の時の移り変わりに気付く。	4 時計や暦に関心をもつ。	4 金銭や時計・暦などの使い方に慣れる。	4 金銭や時計・暦などの正しい使い方が分かる。	4 生活に必要な金銭や時計・暦などを工夫して使う。

#### 〈具体的内容〉

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 宝探しなどで目の前で隠されたものを探し出す。					
2 身近にあるものや人の名を聞いて指差す。					
3 同じ色の積み木などを選ぶ。	1 形、色、大きさ用途などで分類する。				
4 玩具や道具などを分類・整理する。	2 使い方などから身近なものを分類する。				
5 分割した絵カードを組み合わせる。					
6 同じものの仲間集めをする。					
5 皿などを一人一つずつ対応させて配る。	3 一対一の対応により数の多少が分かり、多い方(少ない方)を指す。	1 簡単な数の範囲で数えたり、数字を読んだり、書いたりする。	1 やや広い範囲の数を数えたり、数字を読んだりする。	1 生活の中で必要な数を数えたり、読んだり、書いたりする。	1 生活の中で大きな数をまとめて数えたり、大きな数字を正確に読んだり書いたりする。
	4 具体的な事物でものの順番が分かり、順序数を唱える。				
	5 積み木など身近にある具体的な事物を数える。				

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
	6 数字を読んだり書いたりする。				
	7 必要に応じて具体的な事物を加えたり、減らしたりする。	2 簡単な加法・減法を用いる場合や意味が分かり初歩的な計算をする。	2 加法・減法の計算をする。	2 数式が分かり、生活の中で様々な計算ができる。	2 数式を利用して、生活の中で必要な計算をする。
		3 まとめて数えたり同じように分けたりする。	3 初歩的な乗法・除法が分かり、やさしい計算をする。		3 分数や小数の意味が分かり、百分率や割合を生活の中で活用する。
8 数量の多い少ない、大きい小さいなどに気付き、違いが大きい場合に、多い方、大きい方を取る。	8 大きい小さい、長い短い、広い狭い、重い軽いなどが分かり、比べる。	4 身近にあるものを使って、長さ、重さ、かさを比べる。	4 計算機を使って簡単な計算をする。	3 必要に応じて計算機を使って計算する。	4 計算機を買い物などで活用する。
		5 遠い近い、厚い薄い、深い浅いなどが分かり、比較する。	5 長さ、重さ、容積を表す単位が分かり、物差しやはかりの扱いに慣れる。	4 単位の関係が分かり、生活の中で測定用具を利用して測定する。	5 生活の中で、表示されている単位を理解し、適切な測定用具を選択し、正しく測定する。
9 円など見本を見て、同じ形のものを選ぶ。	9 丸、三角、四角などの名称を言ったり、指差しや型はめをしたりする。	6 円、三角形、正方形が分かり、それらを書く。	6 温度計や体温計の目盛りを読む。	5 正方形、長方形、正三角形、直角三角形、円、辺、頂点、直角などが分かり、それらの言葉を正しく使う。	6 様々な図形の特徴を理解し、生活の中で活用する。
	10 上下、内外、前後などが分かり、生活の中で使う。	7 基準となるものを中心として左右が分かり、指差す。	7 正方形、長方形、三角形などのおよその特徴が分かり、それらを書いたり作ったりする。		
			8 三角定規やコンパスを使って、簡単な図形を書く。	6 定規やコンパスなどを使って、いろいろな図形を正しく描く。	
	11 身近な生活の中で使われている○×などの表が分かり、記入する。	8 簡単な生活の処理を図表や○×などの表で示す。	9 絵グラフや棒グラフ、折れ線グラフを読んだり書いたりする。	7 いろいろな図表やグラフを読んだり書いたりする。	7 いろいろな図表やグラフを正しく読んだり書いたりし、生活の中で目的に応じて活用する。
	12 朝、昼、晩の違いに気付く。	9 時計でおよその時刻を読む。	10 時刻を読んだり、簡単な時間の計算をしたりする。	8 生活の中で時計や暦を利用し、時間や日数の計算をして、予定を立てるなどする。	8 時計や暦を利用して、行動の見通しを立てるなど、生活の中で活用する。
	13 学校に行く日と行かない日があることに気付く。	10 日付や曜日が分かり、暦を見て読む。	11 時間割、日程表、時刻表などを読む。	9 乗り物などの時刻表を読み、およその待ち時間などが分かる。	9 乗り物などの時刻表を読んで、通学や旅行の計画を立てる。
			12 カレンダーのおよその仕組みが分かり、その使い方に慣れる。		
			13 買い物などをし、お釣りなど支払いに必要な簡単なお金の計算をする。	10 金銭に関する処理方法が分かり、生活の中で使う。	10 収入や支出など金銭処理に関する基本的な事柄が分かり、通帳などを生活の中で活用する。

#### 4. 音楽

小学部	中学部	高等部
-----	-----	-----

目標：表現及び鑑賞の活動を通して、音楽についての興味や関心をもち、その美しさや楽しさを味わうようにする。

表現及び鑑賞の能力を培い音楽についての興味や関心を深め、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。

表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。

#### 〈内 容〉

小学部1段階	小学部2段階	小学部3段階	中学部	高等部1段階	高等部2段階
1 音楽が流れている中で体を動かして楽しむ。	1 好きな音や音楽を聴いて楽しむ。	1 身近な人の歌や演奏などを聴き、いろいろな音楽に関心をもつ。	1 いろいろな音楽を楽器の音色などに関心をもって聴く。	1 いろいろな音楽をその美しさなどを感じ取りながら、鑑賞する。	1 いろいろな音楽をその美しさなどを味わいながら鑑賞する。
	2 友達や教師とともに簡単なリズムの特徴を感じ取って身体を動かす。	2 音楽に合わせて簡単な身体表現をする。	2 音楽を聴いて感じたことを動作で表現したり、リズムに合わせて身体表現をしたりする。	2 音楽を聴いて曲の特徴などを感じ取り、創造的に身体の動きで表現したりする。	2 音楽を聴いて感じたイメージを創造的に身体表現する。
2 音の出るおもちゃで遊んだり、扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。	3 打楽器などを使ってリズム遊びや簡単な合奏をする。	3 旋律楽器に親しみ、簡単な楽譜を見ながらリズム合奏をする。	3 打楽器や旋律楽器などを使って、自由に演奏したり、合奏や独奏をしたりする。	3 打楽器や旋律楽器などに親しみその演奏の仕方に慣れ、気持ちを込めて合奏や独奏をする。	3 打楽器、旋律楽器などの演奏の仕方に慣れ、楽器の特色や音色を生かしながら合奏や独奏をする。
	4 好きな歌ややさしい旋律の一部分を楽しく歌う。	4 やさしい歌を伴奏に合わせてながら、教師や友達などと一緒に歌ったり、一人で歌ったりする。	4 歌詞やリズムなどに気を付けて、独唱、斉唱、簡単な輪唱などをする。	4 歌詞の内容を感じ取って、独唱、斉唱、簡単な合唱などをする。	4 独唱、斉唱、二部合唱、オペレッタなどによる表現に慣れ歌詞の内容や曲想などを味わいながら歌う。

#### 〈具体的内容〉

小学部1段階	小学部2段階	小学部3段階	中学部	高等部1段階	高等部2段階
1 音楽が流れている中で、休息したり、手足を動かしたり、遊んだりする。	1 CDプレーヤー等で、知っている歌や好きな曲を楽しんで聴く。	1 CDプレーヤー等を自分で操作して楽しむ。	1 自分の好きな曲を選んでCDプレーヤー等を聴く。	1 いろいろな音楽を聴いて、その良さ、美しさを楽しむ。	1 ポピュラーミュージック、ロック、ジャズ、地域の民謡や踊りなどいろいろな種類の音楽を楽しむ。
2 抱っこ、マッサージ、揺さぶりなどで音楽のリズムを伝えてもらい反応する。	2 いろいろな楽器の音を聴いて、好きな音や音色を選ぶ。	2 友達や教師の歌や演奏を静かに聴いて楽しむ。	2 いろいろな楽器の音色に関心をもって聴く。	2 いろいろな音楽の音色や人の声の特徴を感じ取って聴く。	2 歌手や作曲家、演奏者に興味をもち、それぞれの特徴が分かる。
3 オルゴール、CDプレーヤー等から流れる音楽や歌に興味を示す。		3 行進曲、劇の音楽、踊りの音楽、郷土の音楽、童歌、民族音楽などいろいろな種類の音楽を聴く。	3 自分の歌や演奏を録音し、再生して聴く。	3 いろいろな音楽を聴いて、リズム、旋律、早さ等の特徴に気が付き、味わい楽しむ。	3 友達と好きな曲や歌を聴き合い、楽しむ。

小学部1段階	小学部2段階	小学部3段階	中学部	高等部1段階	高等部2段階
4 教師の歌や演奏などに興味を示す。	3 教師の演奏する歌や楽器を聴く。	4 身近な楽器の音色に関心を持って聴いたり、音当て遊びをしたりする。	4 CDプレーヤー等で歌を聴いて覚えたり、好きな旋律を覚えたりする。	4 自分の歌や演奏を録音・再生して聴いて、友達と感想を話し合う。	4 自分の歌や演奏を録音・再生して聴いて、より美しく表現しようとする。
5 曲の始まり、終わりを感じて反応する。	4 簡単な歌やリズムに合わせて体を動かす。	5 学校生活の中で流れる音楽に関心をもち楽しむ。	5 自然音(風の音、川の音、雨の音など)や生活音(チャイム、時計、クラクションなど)を興味をもって聴く。	5 音楽会で演奏される曲や映画音楽など、いろいろな音楽を聴いて、楽しむ。	5 コンサート、ミュージカル、オペラなどに興味・関心をもち積極的に鑑賞する。
6 音楽に反応して体を動かす楽しさを味わう。	5 友達や先生の表現を見て楽しむ。		6 生活の中でいろいろな音を聴いて楽しむ習慣をもつ。		6 テレビドラマのテーマソングやヒットソングなどに興味をもち、オーディオ機器を使って、自分の好む曲を聴く。
	6 音楽に合わせて、模倣をしたり、身体各部位をたたいたりしながら動かす。	6 歌や曲に合わせて花、ちょう、魚、うさぎ、象、ジェット機、消防車などの模倣表現をする。	7 音楽を聴いて感じたことを動作で表現したり、リズムに合わせて身体表現をしたりする。		
7 教師の手を借りて、歌に合わせて手足や身体部位を打ち鳴らしたり、動かしたりする。	7 打楽器を打ったり、鳴らしたりしながら、歩いたり、走ったりの身体表現をする。	7 歌を歌いながら簡単なハンドプレイや身体表現をする。	8 曲想にふさわしい自由な身体表現をする。	6 曲の拍子やリズムの違いを聴き分けたり、聴き比べたりして身体表現する。	7 世界各地のダンスや民謡をみんなで踊る。
8 音楽に合わせて、手をたたいたり、歩いたり、走ったり、止まったりする。	8 音楽の大きな流れを感じ取り、自由に身体表現する。	8 楽器や道具等を使って音楽に合わせて身体表現をする。	9 いろいろな歌のゲームをする。	7 歌いながら、リズムカルに身体表現をする。	8 音楽を聴いて自分なりのイメージを膨らませて身体表現をする。
9 教師と一緒に簡単な手遊び歌、指遊び歌、物まね遊びなどをする。		9 簡単なフォークダンスや踊りをする。		8 音楽を聴いて曲想や雰囲気を感じ取ったり、自然の中の関心のある音や物を身体表現する。	
	9 「かごめかごめ」「せっせっせ」「花いちもんめ」「ずいずいずっころばし」のようなリズムカルで簡単な童歌や集団遊びをする。	10 ペーパーサートやパネルシアターなどで簡単な音楽劇をして楽しむ。			
10 歌遊びの中で遊びを交代したり順番を待ったりする。		11 CDプレーヤー等の音楽に合わせて模擬楽器を使って、身体表現する。	10 民族音楽の特徴を味わいながらフォークダンス、民謡などを踊る。		
11 楽器を見たり触ったりして形や音色、振動などを楽しむ。		12 教師の拍子打ちやリズム打ちを模倣する。		9 ギターやキーボード等の旋律楽器、和太鼓やラテン音楽で用いられる打楽器を使って友達と合奏する。	

小学部1段階	小学部2段階	小学部3段階	中学部	高等部1段階	高等部2段階
12: ジューズの缶、ペットボトルなど、音の出るおもちゃなどで自由に遊ぶ。	10: タンブリン、ウッドブロック、ギロ、トライアングル、カスタネットなどの楽器で音当て遊びをする。		11: 和太鼓やラテン音楽で用いられる打楽器(コンガ、ボンゴなど)を使って自由に演奏する。		9: 打楽器、旋律楽器、弦楽器、電子楽器などで好きな楽器を選び、奏法を工夫し、独奏したり合奏したりする。
13: マラカス、ハンドベル、がらがら、鳴る子などの振る楽器で音を鳴らして楽しむ。		13: 簡単なリズム譜や絵譜を見て、楽器を打ったりリズム合奏をしたりする。		10: 簡単な合奏譜を見て、いろいろなリズム打ちや旋律奏をする。	
14: オートハープやギターなどの弦楽器に親しみ、弦をはじいて楽しむ。	11: 教師と一緒に木琴、キーボード、トーンチャイムなどの楽器で音階、グリッサンド、和音を鳴らす。	14: 有音程の打楽器(単音グロッケンやハンドベルなど)を使って曲や旋律の一部を演奏する。	12: 有音程の打楽器や笛などで一人一音ずつ担当し、順に打ったり、振ったり、吹いたりして旋律や和音の一部を演奏する。	11: 歌唱教材と関連させながら、簡単な歌唱曲の旋律の階名を覚えて弾く。	10: おもちゃや手作り楽器を含むいろいろな楽器を使って、友達と協力して、即興的な曲作りをする。
15: ツリーチャイムやカバサ、鈴などこすったり揺らしたり、つかんで離したりして、音を出して楽しむ。	12: 音の大小、強弱、速度などの違いに気付く。	15: 旋律楽器(ハーモニカ、リコーダー、木琴、オルガン、鍵盤ハーモニカ、アコーディオンなど)に親しみ、簡単なさぐり吹きやさぐり弾きをする。	13: 旋律楽器(電子ピアノ、鉄琴、ハーモニカ、リコーダー、木琴、オルガン、鍵盤ハーモニカ、アコーディオンなど)を使って、独奏や合奏をする。	12: 旋律楽器を含むいろいろな楽器を組み合わせた合奏をする。	11: 友達と協力して、簡単な詞や曲を作って、楽しむ。
16: シンバル、ティンパニー、太鼓などの打楽器を手やばちで自由に打つなどして楽しむ。	13: 大小、強弱、速度に合わせて楽器を慣らす。	16: ピアノやCDプレーヤー等の演奏に合わせて合奏や部分奏をする。	14: 絵譜や文字譜を見たり、さぐり弾きをしたりして、曲の一部や簡単な曲を演奏する。	13: 歌唱教材やテレビなどで覚えた曲を、好きな旋律楽器で弾いて楽しむ。	12: キーボード、シンセサイザー、コンピュータなどで自分の好みの音を作り、旋律を弾く。
17: いろいろな打楽器を教師と一緒に両手打ち、片手打ち、交互打ちなどで、手やばちを使って楽しむ。	14: 合図に合わせて楽器を鳴らしたり、止めたりする。		15: 強弱アクセントなどを意識したり、力をコントロールしたりして、友達と協力して合奏する。	14: 簡単な合奏譜を見ながら、いろいろな楽器を使って独奏したり合奏したりする。	
18: ハーモニカや笛、カズー、ホイッスル、スライドホイッスル、その他吹くおもちゃなどを自由に吹く。	15: 打楽器を使ってリズム遊びやリズム合奏をする。			15: 色鍵盤と色音符を合わせて、メロディーを弾き楽しむ。	
19: 教師の演奏に合わせて、打楽器や吹く楽器でいろいろな音を鳴らして楽しむ。	16: 好きな歌や好きな曲などに合わせて、打楽器や吹く楽器で自由演奏をする。		16: 楽器の扱い方やしまい方を知り、大切に扱う。	16: 友達と協力してコードを分担し、ギターで一つの曲を完成させる。	13: 呼吸の仕方や口の開け方に注意して、音程や歌詞を意識して歌う。
20: 教師の歌や演奏と一緒に大きな声で伸び伸びと声を出したり、まねて歌ったりする。		17: みんなと一緒に歌ったり、一人で歌ったりする。	17: はっきりした発音で、音程もできるだけ整え、正しいリズムで歌う。	17: 曲想を感じ取り、演奏の仕方を工夫する。	14: CDプレーヤー等の演奏に合わせて歌ったり、カラオケを楽しんだりする。
	17: 好きな歌や易しい旋律の一部分を楽しく歌う。	18: リズムやメロディーに気がつけて歌う。	18: 歌詞を正しく覚え、歌詞の表す情景を想像したりして、気持ちを込めて歌う。	18: 拍子、スタッカート、レガート、シンコペーションに注意して、正しい音程、リズムで歌う。	15: 指揮者や観客を意識しながら、伸び伸びと歌う。

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
21 やさしいメロディーの一部を口ずさむ。	18 教師の歌う簡単な歌を聴きながら歌う。 19 知っている歌の CD 等に合わせ歌う。 20 大きい声、小さい声、のびた声等いろいろな声を出して歌って楽しむ。 21 易しい曲を、正しいメロディーで歌う。	19 簡単な歌詞を正しく歌う。 20 簡単な歌の内容を理解して歌う。 21 どなったり、小聲すぎたりしないように、ちょうどよい声の大ききで歌う。	19 独唱や斉唱、簡単な輪唱などをする。 20 知っている歌、好きな歌、歌える歌の範囲を広げる。 21 教師や友達の歌、伴奏の響きを聴きながら歌う。	19 曲想を考え、その気分になって独唱や斉唱をする。 20 互いに歌声を聞き合って簡単な輪唱や部分合唱をする。 21 民謡や歌曲などいろいろな歌に関心をもち、楽しんで歌う。 22 簡単な音楽劇などをして楽しむ。 23 コンピュータで音楽を聴き、コンピュータの操作に慣れる。	16 自分の思いや願いを歌にして歌う。 17 輪唱や簡単な 2 部合唱をする。 18 楽譜を見ながら歌う、弾きながら歌う、身体表現をしながら歌うなどとする。 19 簡単なテープを選び、場面ごとの音楽を考え、オペレッタなどの音楽劇を作る。 20 電子楽器やコンピュータを使い旋律を流しながらコード伴奏をしたり、好みのリズムパターンを選択してバンド演奏をしたりする。 21 コンピュータで自分の歌や演奏の音色のテンポを変えて聴く。

## 5. 図画工作・美術

小学部	中学部	高等部
-----	-----	-----

目標：初歩的な造形活動によって、造形表現についての興味や関心をもち、表現の喜びを味わうようにする。

造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を培い、豊かな情操を養う。

造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。

### 〈内 容〉

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 描いたり、作ったり、飾ったりすることに興味をもつ。	1 見たことや感じたことを絵に描いたり、作ったり、それを飾ったりする。	1 見たこと、想像したことや想像したことを、工夫して絵に描いたり、作ったり、それを飾ったり、使ったりする。	1 経験や想像をもとに、計画を立てて、絵を描いたり、作品を作ったり、それらを飾ったりする。	1 経験や想像をもとに創造的に絵を描いたり、作品を作ったり、それらを飾ったりする。	1 経験や想像をもとに、様々な技法などを用いて、創造的に絵を描いたり、作品を作ったり、それらを飾ったりする。
2 土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。	2 粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。	2 いろいろな材料や用具を工夫しながら目的に合わせて使う 3 友達と作品を見せ合ったり、造形品などの形や色、表し方の面白さなどに気付いたりする。	2 いろいろな材料や用具などの扱い方を理解して使う。 3 自然や造形品の美しさなどに親しみをもつ。	2 いろいろな材料の性質や用具などの扱い方を理解し、適切に使う。 3 自然や優れた造形物を鑑賞しその美しさなどを味わう。	2 いろいろな材料の性質や用具などの扱い方を理解し、適切に使う。 3 自然や優れた造形物を鑑賞し美しさをもつ、地域の伝統工芸品に関心をもち

### 〈具体的内容〉

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 土、砂、石、粘土、草木などの自然の素材を使って自由に遊ぶ。	1 身近な物の形や色のよさに気付く。	1 描きたいものをよく見て、一番表現したいところを見付ける。	1 見たこと、感じたこと、考えたことなどを絵に描く。	1 見たこと、感じたこと、考えたことなどを工夫して絵に描く。	1 見たこと、感じたこと、考えたことなどを画材や技法を工夫して絵に描く。
2 砂や土で山や川を形作って遊ぶ。	2 表したいものを、水彩絵の具やクレヨン、カラーペンなどを使って描く。	2 絵の主題を決めて形や色に関心をよせて描く。	2 自然の背景や身のまわりの事物をよく見て、絵の具の性質を生かして絵に描く。	2 木版を主として、計画を立て、版を作り、版画にする。	2 彫刻刀の種類の特性を生かして版を作ったり、様々な技法で版画を製作したりする。
3 粘土で簡単な形を作って見立て遊びをする。	3 木の葉、野菜などの自然物や身近な器物の形を押しして版画にする。	3 紙、その他扱いやすい材料で、版を作り、版画にする。	3 彫刻刀を使って、ゴム版やリリウム版などで版を作り、版画にする。	3 表現したいものを、いろいろな材料の特性を生かし、立体に表す。	3 表現したいものに適した材料を選び、様々な工夫を加えて、立体に表す。
4 棒切れや小石で地面に線や模様を描いて遊ぶ。	4 身近な用具で粘土を切ったり、筋をつけたり、穴を空けたりする。	4 粘土などで、作ろうとするものの感じが出るように作る。	4 粘土などで、動物や人、乗り物、建物などの特徴をとらえて立体表現する。	4 目的や用途に合わせて、形や色などの組み合わせを工夫して、作ったり、飾ったりする。	4 目的や用途に合わせて、形や色などの組み合わせを適切にして、作ったり、飾ったりする。
5 鉛筆、クレヨン、筆などを使い、自由になぐり描きをして遊ぶ。	5 粘土などを使って、自分で表したいものを作る。	5 いろいろな形や色、材質の違いを生かして表す。	5 形の対称や繰り返しのリズムなどの面白さに気付く、工夫して表現する。	5 目的や条件に応じて、材料や用具を選び、計画を立て、工夫しながら表現する。	5 目的や条件に応じて、材料や用具を選び、計画に沿って適切に表現する。
6 身近にある野菜や飲み物のキャップ等の型を版にして遊ぶ。					

小学部1段階	小学部2段階	小学部3段階	中学部	高等部1段階	高等部2段階
7 積み木やブロックを積み上げたり、くずしたりして遊ぶ。	6 いろいろな形や色を使って、自由に組み合わせたり、組み立てたりする。	6 形や色の組み合わせによる感じの違いに気付く、工夫して表す。	6 色合いの違い、色の寒暖などが分かり、色の組み合わせを工夫して表現する。	6 金属、プラスチック、その他の造形素材の種類や性質を生かして表現する。	6
8 同じ形や色の物を集めたり、はったり飾ったりする。	7 基本的な形や色が分かる。	7 伝えたいことがよく分かるように色や形を使って表す。	7 知らせる内容を考えて、色や形の組み合わせを工夫して表現する。	7 粘土で、飾るものや使うものを成形し、焼成する。	7 コンピュータを使って絵やポスターなどを描いたり、作品を見せ合ったりする。
9 2～3色の色と名前が分かる。	8 身の回りや教室の飾りをする。	8 げんとう、のこぎり、きり、ペンチ、小刀などを使って、いろいろなものを作る。	8 形や色、材質のつり合いの美しさを感じ取って、見通しをもって表現する。	8 木材などで、日用品や模型などを作る。	8 様々な技法や製作意図に応じた釉薬を選ぶなどして、粘土の作品を作る。
10 草、花、枝、小石などの自然物を集めたり、並べたりして遊ぶ。	9 はさみやのりを使って、はり絵や工作をする。	9 身近ないろいろな材料や用具を準備したり、後片付けをしたりする。	9 粘土で器物を成形し、必要に応じて焼成する。	9 工具や機械などの正しい扱い方を理解し、簡単な手入れをする。	9 木材などの材質や特性を生かして、日常生活で使えるものを作る。
11 気に入った色、形、絵などを選んで集め、並べたり、貼ったり、飾ったりする。	10 包装紙、アルミ箔、箱、空き缶など身近な材料を使って、自由な表現をする。	10 紙や木、針金、ゴムなど身近な材料で、簡単な動くおもちゃなどを作って遊ぶ。	10 木や竹、プラスチックなどいろいろな素材の性質を考えて、考えるものを作る。	10 いろいろな用具や工具、機械類を素材の特性に合わせて活用する。	10 道具や機械の安全な扱い方を知り、簡単な部品交換などをする。
12 紙、布、積み木、空き缶などを使って自由に遊ぶ。		11 行事などに使う飾りや道具などを、いろいろな材料で、仲よく協力して作る。	11 ニスやラッカーなどを使用して、工作物を仕上げる。	11 塗装の初歩的技術を理解して活用する。	11 電動工具類を安全に使用して、木材やプラスチックなどを正確に加工する。
			12 作ろうとするものを、絵や図に描いたりして、見通しをもって作る。	12 簡単な見取り図や展開図の見方やかき方を理解して順序よく作る。	12 材料や使途に応じた塗装の技術や道具類の管理・保管を適切にする。
13 自分の作品を教師や親と一緒に見直して思ったことを言う。	11 自分の作品や友達の作品を見せ合う。	12 自分と友達の作品の表し方の違いに関心をもってみる。	13 身近にある造形品を見たり、使ったりして、そのよさに気付く。	13 身近にある造形品を見たり、使ったりして、その美しさや働きを理解する。	13 作りたいものを完成図や製作工程表にして、友達と協力して正確に作る。
14 作品に名札を付けたり飾りつけを手伝ったりする。	12 自分の作品を大切にする。	13 美しい自然の風景や造形品に関心をもつ。	14 自然の風景やすぐれた作品などの美しさやよさを味わう。	14 我が国や諸外国の親しみのある美術作品などのよさや美しさなどに興味をもって鑑賞する。	14 地域の伝統工芸品を作ったり、使ったり、飾ったりして、そのよさや美しさを味わう。
		14 自分や友達の作品を大切にす			15 近隣の美術館や作品展覧会などを見学し適切なマナーを身に付ける。

## 6. 体育・保健体育

小学部	中学部	高等部
-----	-----	-----

目標：適切な運動の経験を通して、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。

### 〈内 容〉

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 教師と一緒に、楽しく手足を動かしたり、歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする。	1 歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動に慣れる。	1 歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えたりしていろいろな方法で行う。	1 体づくり運動、簡単なスポーツ、ダンスなどの運動をする。	1 体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動をする。	1 体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動を通して、体力や技能を高める。
2 いろいろな器械・器具・用具を使った遊び、表現遊び、水遊びなどを楽しく行う。	2 いろいろな器械・器具・用具を使った運動、表現運動、水の中での運動などに親しむ。	2 いろいろな器械・器具・用具を使った運動、表現運動、水の中での運動などをする。	2 きまりや簡単なルールなどを守り、友達と協力して安全に運動をする。	2 きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に運動をする。	2 きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友達と協力し、進んで安全に運動をする。
2 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をする。	3 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に運動をする。	3 いろいろなきまりを守り、友達と協力して安全に運動をする。	3 自分の発育・発達に関心をもったり、健康・安全に関する初歩的な事柄を理解したりする。	3 心身の発育・発達に関心をもち、生活に必要な健康・安全に関する事柄を理解する。	3 心身の発育・発達に応じた適切な行動や生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深める。

### 〈具体的内容〉

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 一人で歩く。	1 大また、小またなどの歩き方をする。	1 後ろ歩き、横歩きなどいろいろな歩き方をする。	1 号令に合わせて体の向きを変える。	1 身体各部位の屈伸、ねん転、回旋などをする。	1 身体各部位の屈伸、ねん転、回旋などを大きな動きで行う。
2 合図で立ったり座ったりする。	2 合図で集合する。	2 集合・整列をする。	2 腕の屈伸をする。		
3 1列に並ぶ。	3 直線上を歩く。	3 リズムに合わせて行進する。	3 腕の前・上下・左右突き、腕の内外回旋をする。	2 歩・走・跳・投・捕等の全身運動をする。	
	4 1列に並んで歩く。	4 距離、間隔をとって1・2列で整列する。	4 膝の屈伸や脚の前振りをしたり、脚を前後左右に大きく開いたりする。		
4 足を前後、左右に開いたり、腕を振ったり、回したりする。	5 上肢、下肢を曲げたり伸ばしたりする。	6 片足跳びをする。	5 身体の前屈、側屈を大きくしたり、身体の回旋をしたりする。		
5 支えられて片足で立つ。	6 片足で立つ。	7 上体を反らせたり、身体の前屈、側屈をする。	6 脚の開閉跳びなどをする。	2 腕立て伏臥、腕屈伸などをする。	
6 トランポリンの上で揺れて楽しむ。	7 固定施設などを使っていろいろな遊びをする。	8 馬跳びをする。	7 短縄跳び、長縄跳びをする。		
	8 トランポリンやジャンピングボードで遊ぶ。	9 縄跳び遊びをする。	8 体操を曲に合わせて行う。		
		10 いろいろな体操をまねて行う。			

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
7 低鉄棒を使っていろいろな遊びをする。	9 低鉄棒を使って跳び上がったたり、跳び降りたりする。	11 鉄棒にぶら下がったり、身体を前後に振ったりする。	9 低鉄棒で足抜き回りをする。	3 低鉄棒で膝掛け振り上がり、逆上がりなどをする。	4 高鉄棒で振り跳びをする。
8 一人でごろごろ転がる。		12 低鉄棒で前回りをする。	10 高鉄棒にぶら下がって、身体を前後に振って遊ぶ。		
9 低い台に昇ったり降りたりする。	10 跳び箱を使って、またぎ乗りやまたぎ降りをする。	13 跳び箱を使って、跳び上がり、飛び降りをする。	11 跳び箱で腕立て跳び越しなどをする。	4 跳び箱で開脚跳び、台上前転などをする。	5 跳び箱で開脚跳びをする。
10 階段を昇ったり降りたりする。					
11 遊具を使ってぶら下がったり、よじ登ったり飛び降りたりする。					
12 器具を使って、バランスをとって遊ぶ。	11 マットの上で横転がりや前転がりをする。	14 マットで連続横転がりや連続前転がりをする。	12 マットで前転、後転などをする。		6 マットで連続前転、連続後転、開脚前転、開脚後転などをする。
13 低い跳び箱に乗ったり降りたり、またがったりする。			13 マットで開脚前転、開脚後転などをする。		
14 マットの上で横や前に転がる。					
15 低い平均台の上を支えられて歩いたり、手を引かれて歩いたりする。	12 低い平均台の上を歩く。	15 平均台の上を歩く。	14 平均台の上で方向転換をする。	5 平均台の上で方向変換をしたり、後ろ歩き、片足立ちなどをする。	
16 手を引かれて走ったり、一人で走ったりする。	13 同じ調子で駆け足を走る。	16 全力で短い距離を走る。	15 速度や方向を変えて歩いたり走ったりする。	6 短距離走、長距離走、持久走をする。	
17 這ったりくぐったり、またいだりして遊ぶ。	14 きまりを守り、折り返しリレーなどをする。	17 ジグザグ、S字等のコースに沿って走る。	16 全力疾走する。	7 リレーで正しくバトンパスする。	
18 しゃがんだり、立ったり、その場跳びをしたりする。	15 緩やかなカーブを走る。	18 きまりを守り、リレーでバトンパスをする。	17 物を持ったり、担いだりして走る。		
19 まっすぐ走る。		19 やや長い距離を走る。	18 幅広い障害を飛び越える。		7 ハードルなどで障害走をする。
			19 リレーで決められた約束を守ってバトンパスをする。		
20 片足や両足で踏み切って遊ぶ。	16 川跳び遊びなどをする。	20 立ち幅跳びをする。	20 走り幅跳びをする。	8 決まりを守って走り幅跳びをする。	
			21 かなり長い距離を走る。		
21 膝位の水の中でのいろいろな遊びをする。	17 膝位の深さの水の中で、歩いたり走ったりする。	21 水中で目を開く。	22 水中で伏し浮きやけ伸びをする。	9 水中で呼吸の仕方を覚える。	8 背泳ぎ、横泳ぎなどをする。
	18 顔や頭を水中に入れて、いろいろな遊びをする。	22 水中で鼻から息を吐く。	23 水中で伏し浮きから立ち上がり動作をする。	10 クロール、平泳ぎ、潜水などをする。	9 スタート台からのスタートやターンをする。
		23 水中で沈み方、浮き方に慣れる。	24 水中に顔をつけてばた足をする。		10 長い距離を泳ぐ。
		24 水中でばた足をする。			
22 ボールを転がしたり投げたりする。	19 ボールをついたり、蹴ったりして遊ぶ。	25 ボールを蹴りながら走る。	25 友達と協力して、ボールを使ってリレーをする。	11 ルールを守り、友達と協力してフットベースボール、ソフトボール、サッカーなどをする。	11 ルールを守り、友達と協力して、バスケットボール、ハンドボール、バレーボールなどをする。
	20 近い距離でボールを投げたり、受けたりする。	26 ドリブルをする。	26 相手に向かってボールを蹴ったり投げたりする。		12 卓球、バドミントンなどをする。

小学部 1 段階	小学部 2 段階	小学部 3 段階	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
	21: 友達と協力してボール送りゲームをする。	27: きまりを守り、友達と協力して円形ドッジボールをする。	27: 簡易ルールでフットベースボールやサッカーをする。 28: 簡易ルールでバスケットボール、ソフトボール、卓球、バドミントンなどをする。		
23: 音楽が流れているところで身体を動かす。	22: 動物のまねをして遊ぶ。	28: 音楽に合わせて自由な表現をする。	29: 音楽に合わせて自由に身体表現をする。	12: フォークダンスや民謡を踊る。	13: ダンスを創作したり鑑賞したりする。
24: 動物のまねをして跳ねたり、跳んだりする。	23: 簡単なリズム遊びをする。	29: 簡単なフォークダンスを踊る。	30: 簡単なフォークダンスや民謡を踊る。		
25: 歌を伴った遊びをする。	24: 音楽に合わせて歩いたり、跳んだりする。		31: スキー、スケートなどをする。 32: 作法に従い、相撲などをする。		14: 作法に従い、柔道や剣道などをする。

**保 健**  
〈具体的内容〉

	中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
	1 進んで身体及び身辺の清潔に気を付ける。 2 気温の状態を着衣を調節する。 3 身体測定や性徴を通して、体の発育に関心を持ち、体の各部の働きを知る。 4 運動やゲームの後で汗をふいたりうがいをする。 5 体育施設、用具などの使い方、遊び方などを知り、けがのないように気を付ける。 6 体の状態を考えて適度な運動をする。 7 偏らないように栄養をとり、食べ過ぎないようにする。 8 小さなけがの手当てを自分でする。 9 初潮や月経の処置を自分でする。 10 精通について知り、適切に対応する。 11 必要に応じて体温計や水枕などを使う。 12 薬を指示通り服用する。	1 常に身体や身辺を清潔に保つ。  2 体の状態を考えて進んで適度な運動をする。  3 運動や作業などの後に、汗をふいたり手足を洗ったり、うがいをしたり、着替えたりする。  4 安全に注意して運動をする。 5 簡単な応急手当の仕方を知る。  6 妊娠、出産について理解する。	1 身体の発育や健康に関心を持ち、体の各部の働きを知る。  2 病気の時や疲れたときは適宜休養を取る。  3 主な病気の種類を知り、進んで予防接種や健康診断を受ける。 4 主な伝染病とその予防法について知る。 5 職業病や公害病について知り、健康の保持に努める。

## 7. 社会

中学部	高等部
-----	-----

目標：社会の様子、働きや移り変わりについての関心と理解を深め、社会生活に必要な基礎的な能力と態度を育てる。

社会の様子、働きや移り変わりについての関心と理解を一層深め、社会生活に必要な能力と態度を育てる。

### 〈内容〉

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 集団生活の中での役割を理解し、自分の意見を述べたり、相手の立場を考えたりして、互いに協力し合う。	1 相手や自分の立場を理解し、互いに協力して役割や責任を果たす。	1 個人と社会の関係が分かり、社会の一員としての自覚をもつ。
2 社会生活に必要ないろいろなきまりがあることを知り、それらを守る。	2 社会や国にはいろいろなきまりがあることを知り、それらを適切に守る。	2 社会の習慣、生活に関係の深い法や制度を知り、必要に応じて生活に生かす。
3 日常生活に関係の深い公共施設や公共物などの働きが分かり、それらを利用する。	3 生活に関係の深い公共施設や公共物などの働きを理解し、それらを適切に利用する。	3 公共施設や公共物などの働きについての理解を深め、それらを適切に利用する。
4 日常生活で経験する社会の出来事や情報メディアなどに興味や関心をもち、生産、消費などの経済活動に関する初歩的な事柄を理解する。	4 政治、経済、文化などの社会事象や情報メディアなどに興味や関心をもち、生産、消費などの経済活動に関する基本的な事柄を理解する。	4 政治、経済、文化などの社会事象や情報メディアなどに興味や関心を深め、生産、消費などの経済活動に関する事柄を理解する。
5 自分が住む地域を中心に、我が国のいろいろな地域の様子や社会の移り変わりに関心をもつ。	5 我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子を理解し、社会の変化や伝統に関心をもつ。	5 地図や各種の資料などを利用し、我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子、社会の変化や伝統を知る。
6 外国の様子や世界の出来事などに興味や関心をもつ。	6 外国の自然や人々の生活の様子、世界の出来事に関心をもつ。	6 各種の資料を利用し、外国の自然や人々の生活の様子、世界の出来事について知る。

### 〈具的内容〉

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 相手、時と場所を考えた言動をとる。	1 相手のことを考えながら、自分の立場を考えた言動をとる。	1 社会の一員としての自分を意識した言動をとる。
2 困ったとき、分からない時は、人に尋ねたり、教えてもらったりして、目的を果たす。	2 必要なことは人に尋ねたり、相談したりして、目的を果たす。	
3 周りの人が困っている様子を見た時に、手助けする。	3 学校や地域におけるいろいろな活動に参加し、所属意識をもつ。	
4 身近な課題について友達と話し合い、自分の意見を述べたり、相手の意見を聞いたりする。	4 身近な学習課題について、班やグループで討議し、自分の意見をはっきりと述べる。	2 学習課題について、班やグループで討議し、話の流れを意識しながら自分の意見を述べる。
5 近隣の人々と交流したり、地域の行事に参加したりする。	5 地域の行事に進んで参加し、交流を深める。	
6 異性の特性を知り、相手に応じた言動をとる。	6 異性の特性を知り、相手や場に応じた言動をとる。	3 異性の特性を理解し、気持ちよく付き合う。
7 学校・部・学級の中で、分担した仕事をする。	7 学校・部・学級の中で、自分の役割をもち、責任を果たす。	4 学校・部・学級の中で友達と協力しながら、自分の役割を果たす。
8 電話の使い方を知り、利用する。	8 電話での対応の仕方を知り、利用する。	
9 知人と定期的な手紙のやり取りをする。	9 知人と、自分の近況を伝える手紙のやり取りをする。	5 折に触れて、いろいろな手紙のやり取りをする。
10 周りの人が気持ちよく過ごせるよう行動する。	10 自分の属する団体の決まりを守り、場に応じた行動をする。	
11 学校・部・学級の決まりを守る。	11 学校・部・学級のみんが気持ちよく過ごすために決まりがあることが分かり、それを守る。	
12 交通ルールや身近な市町村や地域、国のいろいろな決まりや習慣を知る。	12 交通ルールや身近な市町村や地域、国の決まりや習慣を守る。	6 身近な市町村や地域、国の決まりや習慣を知り、守る。 7 日本国憲法ではいろいろな決まりの基になる重要な内容が定められていることを知る。

中学部	高等部1段階	高等部2段階
13: 生徒会の役員選挙の仕組みを知り、参加する。	13: 一般の選挙制度について知り、身近な地域の選挙に関心をもつ。	8: 選挙制度を理解し、身近な地域や国の選挙に関心をもつ。
14: 警察署、消防署、図書館、病院などの役割や仕組みを知り、一人、または家族や友達と利用する。	14: 警察署、消防署、図書館、病院などの役割や仕組みを知り、必要に応じて利用する。	9: 郵便局や銀行の役割や仕組みを知り、必要に応じて速達などを利用する。
15: 郵便局の役割や仕組みを知り、郵便物にかかわる利用をする。	15: 郵便局や銀行の役割や仕組みを知り、現金自動支払い機を利用する。	10: 公共交通機関の路線図、時刻表を基に計画を立て、目的地に行く。
16: 公共交通機関を利用し、便利さを感じ取る。	16: 公共交通機関を利用し、正しく利用する。	11: 地域の役所で必要書類を受け取る手続きの仕方を知り、利用する。
17: 地域の役所や公民館などの役割や仕組みを知る。	17: 地域の役所や公民館などの役割や仕組みを知り、利用する。	12: 大規模小売店、専門店などのよさを知り、目的に応じて利用する。
18: 身近にある自動販売機で、生活に必要な物を買う。	18: 目的に応じて、自動販売機を使い分ける。	13: 新聞やテレビなどを適切に利用し、生活情報として活かす。
19: 学校周辺や地域の小売店を知り、利用する。	19: 量販店やコンビニエンスストアなどのよさを知り、利用する。	14: 流通の仕組みを知る。
20: 新聞社、テレビ局などの役割や仕組み、報道内容に関心をもつ。	20: 新聞社、テレビ局などの役割や仕組み、生活との結び付き等を知る。	15: いろいろな職業の種類を知り、働く人の姿をもとに働くことの貴さを知る。
21: 商店、問屋、市場などの役割や仕組みを知る。	21: 商品の動きを基に、生産者と消費者とのつながりを知る。	16: いろいろな産業製品を知り、貿易との関連に関心をもつ。
22: 農林水産業の果たす役割や、生活とのつながりについて知る。	22: いろいろな産業の果たす役割や、生活との関係について知る。	17: 労働と収入の関係を理解し、働くことが生活を送る上で必要なことを知る。
23: 身近な人々が就いている職業を中心に、主な職業とその内容を知る。	23: いろいろな職業の種類を知り、人々の役に立っている様子を知る。	18: 水道・電気・ガスなどの仕事や廃棄物の処理について、環境問題と結び付けて考える。
24: 製品ができるまでの様子を知る。	24: 地域の素材や環境を生かした産業製品を知る。	19: 社会福祉について関心をもち、ボランティア活動に取り組む。
25: 労働に応じて賃金を受け取ることを知る。	25: 人々の働く姿を基に、労働と収入の関係を理解する。	20: 自然災害や公害について関心をもち、環境問題と関係づけて考える。
26: 水道・電気・ガスなどの役割や仕組みを知る。	26: 水道・電気・ガスなどの仕事や廃棄物処理について知る。	
	27: 社会福祉施設や関係機関などについて、役割や仕組み、利用について知る。	
	28: 自然災害や公害について関心をもつ。	
27: 学校周辺の道路や建物などから、学校の位置をつかむ。	29: 学校周辺、所在する地域の道路や建物などを知り、位置関係をつかむ。	21: 日本、世界の地形、地勢の特徴を知る。
28: 自分の住む地域の地形、地勢などの特徴を知る。	30: 日本の地形、地勢について主な山脈、河川、平野などを知る。	22: 地図や路線図などを手掛かりにして、目的地に行く。
29: 絵地図や公共交通の路線図を見て、位置を知る。	31: 簡単な地図や路線図を作りながら、身近な地域の地理について理解する。	23: 地図や地球儀を使って、日本や世界の国々の位置を知ったり、位置関係をつかんだりする。
30: 地図を使って、自分の住む県、世界の国々の位置を知る。	32: 地図を使って、自分の住む県、世界の国々の位置が分かる。	24: 昔の人々の生活と今の生活を比較しながら、その移り変わりを知る。
31: 自分で住んでいる地域の生活の移り変わりについて関心をもつ。	33: 昔の人々の生活の様子を知り、今の生活との違いが分かる。	25: 遺跡や史跡を見学したり、地域の人の話を聞いたりして、昔の生活の様子や今の生活との違いを知る。
	34: 遺跡や史跡を見学したり、地域の人の話を聞いたりして、昔の生活に関心をもつ。	26: 地域の伝統行事に参加したり、文化財を見学したりして関心をもつとともに、文化遺産を大切にす。
	35: 地域の伝統行事に参加したり、文化財を見学したりして、昔から残っているものに関心をもつ。	27: 古くからの生活の知恵が、自分の生活を豊かにしていることを知る。
	36: 地域における生活に、古くからの生活の知恵が生かされていることを知る。	28: 世界の国々の自然や生活の様子を知り、日本との関係について考える。
32: 日本や世界の国の自然や生活の様子について話を聞いて知る。	37: 世界の国々の自然や生活の様子を知り、世界の様子に関心をもつ。	
33: 国と国とが協力し合っていることを聞き、その大切さを知る。	38: 国と国との付き合いの様子を知り、協力の在り方に関心をもつ。	29: 国際連合の役割と仕組み、外交の実際について知る。
34: 新聞やテレビなどを見たり、話を聞いたりして、日本や世界で起きたことに関心をもつ。	39: 世界の時事に関心をもち、一つ一つの内容を知る。	30: 世界の時事に関心をもち、日本や世界の政治、経済にまつわる状況や、およその流れを知り、現状と関係付けて考える。

## 8. 理 科

<b>中学部</b>	<b>高等部</b>
------------	------------

目標：日常生活に関係の深い自然の仕組みや働きなどに関する初歩的な事柄についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養うとともに自然を大切にすることを育てる。

自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切にする態度を育てる。

### 〈内 容〉

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 人の体の主なつくりや働きに関心をもつ。	1 人の体の主なつくりや働きを理解する。	1 人の体の主なつくりや働きについての理解を深めるとともに、人の成長や環境とのかかわりについて関心をもつ。
2 身近な生物の特徴、その成長及び活動の様子に関心をもつ。	2 生物の特徴、その成長や活動の様子について理解し、生命の大切なことを知る。	2 生物とそれを取り巻く自然環境についての理解を深め、生命の大切なことを知る。
3 日常生活に関係の深い事物や機械・器具の仕組みと扱いについての初歩的な知識をもつ。	3 生活に関係のある物質の性質や機械・器具の構造及び働きについて理解し、適切に取り扱う。	3 様々な物質の性質や機械・器具の種類、構造及び働きについて理解し、適切に取り扱う。
4 自然の事物・現象についての興味を広げ、日常生活との関係を知る。	4 自然の事物・現象についての初歩的な理解を図るとともに、自然と生活との関係を理解する。	4 自然の事物・現象についての理解を図るとともに、自然と生活との関係について理解を深める。

### 〈具体的内容〉

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 人体のつくりや名称や働きに関心をもつ。	1 人体のつくりや名称や働きを知る。	1 人体のつくりや名称、働きへの理解を深め、日常生活に応用する。
2 主な病気やけがなどの原因やおよその症状が分かる。	2 主な病気やけがの原因、症状を知り、予防に関心をもつ。	2 主な病気やけがを、適切に予防する。
3 病気の原因となるかびや細菌などに関心を持ち、消毒の働きや予防の意味が分かる。	3 病気の原因となる細菌などについて理解し予防や消毒の意味が分かる。	3 病気の原因となる細菌を消毒し、病気を予防する。
4 日常用いる主な医薬品の使い方が分かる。	4 主な医薬品の使い方が分かり、簡単な処置をする。	4 主な医薬品を適切に使用する。
5 食品と栄養との関係に関心をもつ。	5 食品と栄養と健康との関連が分かる。	5 食品の栄養と健康との関連を知り、食生活に役立てる。
6 温度や湿度などと健康との関係に関心をもつ。	6 温度、湿度などと健康との関係が分かる。	6 温度、湿度、照度などを適切に保ち生活する。
7 有害な食品や公害などに関心をもつ。	7 有害な食品や公害などについての初歩的な知識をもつ。	7 有害な食品や公害などについての理解を深め、それを生活に生かす。
8 身近にある主な植物の名称や特徴に関心をもつ。	8 身近にある主な植物の名称や特徴が分かる。	8 身近にある主な植物を大切に育てる。
9 身近にいる主な動物の習性や特徴に関心をもつ。	9 身近にいる主な動物の習性や特徴が分かる。	9 身近にいる主な動物を大切に世話する。
10 日常生活でよく使う道具や機械などの働きに関心をもつ。	10 日常生活でよく使う道具や機械などの働きや使い方が分かり、使用する。	10 日常生活でよく使う道具や機械などを安全に取り扱う。
11 日常生活でよく使う電気器具やデジタル機器の主な仕組みに関心を持ち、使用する。	11 日常生活でよく使う電気器具やデジタル機器の主な仕組みや使い方が分かり使用する。	11 日常生活でよく使う電気器具やデジタル機器を、安全に取り扱う。

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
12 衣、食、住に関する物品や道具などの名称を知り、それらの働きに関心をもち、使用する。	12 衣、食、住に関する物品や道具などの名称、性質、働きや使い方が分かり、使用する。	12 衣、食、住に関する物品や道具などを効果的に取り扱う。
13 乗り物などの仕組みや働きに関心をもつ。	13 乗り物などの構造や働きが分かる。	13 乗り物などの構造や働きが分かり、有効に利用する。
14 日常生活でよく使う光学製品の仕組みや働きに関心をもち、使用する。	14 日常生活でよく使う光学製品の仕組みや働きが分かり、使用する。	14 日常生活でよく使う光学製品の仕組みや働きが分かり、適切に取り扱う。
15 文房具や事務用品の主な仕組みや働きに関心をもち、使用する。	15 文房具や事務用品の仕組み、働きや使い方が分かり、使用する。	15 文房具や事務用品を、効果的に取り扱う。
16 日常生活によく使う石鹼や洗剤の性質や働きに関心をもち、使用する。	16 日常生活によく使う各種洗剤や漂白剤などの働き、使い方が分かり、使用する。	16 日常生活によく使う各種洗剤や漂白剤、殺虫剤などの化学製品の性質、働きや使い方が分かり、安全に使用する。
17 食用油の性質や使い方に関心をもち、使用する。	17 灯油や潤滑油の性質や使い方が分かり、安全に使用する。	17 灯油や潤滑油、揮発油などの性質が分かり、安全に使用する。
18 ガスの性質やガス器具の仕組みや使い方に関心をもち、使用する。	18 ガスの性質やガス器具の働きや使い方が分かり、安全に使用する。	18 ガスの性質やガス器具の働き、構造や使い方などが分かり、安全に取り扱う。
19 日常生活でよく使用する金属、プラスチック、ガラスなどの製品の性質に関心をもち、使用する。	19 日常生活でよく使用する金属、プラスチック、ガラスなどの製品の性質や用途が分かり、使用する。	19 金属、プラスチック、ガラスなどの製品の性質や用途を知り、日常生活で適切に取り扱う。
20 日常生活でかわりの深い水や土などの性質に関心をもつ。	20 日常生活でかわりの深い水や土などの主な性質が分かる。	20 水、空気、土などなどの性質と日常生活との主なかわりが分かる。
21 太陽、月、星などの天体について関心をもつ。	21 太陽、月、星などの天体についての初歩的な知識をもつ。	21 太陽、月、星などの天体や地球の概要が分かる。
22 季節による気象の変化や特徴に関心をもつ。	22 季節による気象の変化や主な特徴が分かる。	22 季節による気象の変化や特徴を知り、生活に役立てる。
23 地震や火山活動について関心をもつ。	23 地震や火山活動に関する初歩的な知識をもつ。	23 地震や火山活動に関する知識をもち、災害の防止に役立てる。
24 海、山、川などの自然の様子に関心をもつ。	24 海、山、川などの自然の様子やおよその働きが分かる。	24 海、山、川などの自然のおおよその働きと日常生活との主な関係が分かる。

## 9. 職業・家庭(中), 職業・家庭(高)

中学部	高等部
-----	-----

目標：明るく豊かな職業生活や家庭生活が大切なことに気付くようにするとともに、職業生活及び家庭生活に必要な基礎的な知識と技能の習得を図り、実践的な態度を育てる。

職業目標 勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。  
家庭目標 明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

### 〈内容〉

#### (職業)

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 働くことに興味をもち、作業や実習に参加し、働く喜びを味わう。	1 働くことの意義を理解し、作業や実習に取り組み、働く喜びを味わう。	1 働くことの意義について理解を深め、積極的に作業や実習に取り組み、職場に必要な態度を身に付ける。
2 職業に就くためには、基礎的な知識と技能が必要であることを理解する。	2 道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気をつけながら作業や実習をする。	2 いろいろな道具や機械の仕組み、操作などを理解し、材料や製品の管理を適切に行い、安全や衛生に気をつけながら正確に効率よく作業や実習をする。
3 道具や機械、材料の扱いなどが分かり、安全や衛生に気をつけながら作業や実習をする。	3 自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。	3 作業の工程全体を理解し、自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。
4 自分の役割を理解し、他の者と協力して作業や実習をする。	4 適切な進路選択のために、いろいろな職業や職業生活について知る。	4 職業生活に必要な実践的な知識を深める。
5 産業現場等における実習を通して、いろいろな職業や職業生活、進路に関心をもつ。	5 産業現場等における実習を通して、実践的な職業生活を体験する。	5 産業現場等における実習を通して、職業生活に必要な事柄を理解する。
6 職業生活や家庭生活で使われるコンピュータ等の情報機器の初歩的な扱いに慣れる。	6 職業生活に必要な健康管理や余暇の有効な過ごし方が分かる。	6 職業生活に必要な健康管理や余暇の計画的な過ごし方についての理解を深める。
7 家庭生活における余暇の過ごし方が分かる。	7 職場で使われる機械やコンピュータ等の情報機器などの簡単な操作をする。	7 職場で使われる機械やコンピュータ等の情報機器などの操作をする。

#### 〈具体的内容〉

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 働くことに興味をもち、仕事に参加する。	1 働くことの喜びを知り、進んで仕事に参加する。	1 働くことの意義の理解を深め、積極的に仕事に参加する。
2 物を作ったり育てたりすることに関心をもち、仕事への意欲をもつ。	2 物を作ったり育てたりすることの楽しさを味わい、仕事への自信をもつ。	2 物を作ったり育てたりすることが社会に役立つことが分かり、自分の仕事の意味を理解する。
3 ふざけたり、無駄話、よそ見などをしていないで仕事をする。	3 集中して作業に取り組む。	3 正確な作業を継続する。
4 仕事の好き嫌いをせず、最後までする。	4 いろいろな作業に積極的に取り組み、最後までやり遂げる。	4 どんな作業にも積極的に取り組み、最後までやり遂げる。
5 場面に応じた服装、動作、言葉遣いなどについて考える。	5 場面に応じた服装、動作、言葉遣いなどを適切にする。	5 場面に応じた服装、動作、言葉遣いなどが分かり、適切にする。
6 作業に必要な道具や工具を安全に使う。	6 いろいろな道具、機械などの操作に慣れ、正しく扱う。	6 いろいろな道具、機械などの操作に習熟し、正確に扱う。
7 作業に使う道具や機械の名称、操作の仕方を知り、安全に正しく使う。	7 いろいろな道具、機械などの仕組みを理解し、安全に扱う。	7 作業内容と使用する道具や機械の仕組みの関係が分かり、道具や機械を安全に正しく使う。
8 道具や機械などの簡単な手入れをする。	8 道具や機械などの手入れや簡単な修理をする。	8 道具や機械などを点検し、日常的な手入れや簡単な修理をする。
9 道具や機械、材料などの後片付けや整理整頓をする。	9 道具、機械、材料、製品などの片付けや管理をきちんとする。	9 道具、材料、製品を決められた場所に保管したり、機械の管理を正確に行ったりする。
10 無駄のないように原材料などを使う。	10 製作に必要な原材料が分かる。	10 原材料の特徴と加工法との関係について理解する。
11 原材料や製品、収穫物を大切に扱う。	11 原材料の扱い方を知り、必要な分量を量って使う。	11 原材料の性質を知り、無駄のないように適切に使う。
12 品物の長さや重さを計ったり、数えたりする。	12 原材料や製品、収穫物などの整理と保管をする。	12 原材料や製品、収穫物をそれぞれの特徴を理解して整理し、決められた場所に保管する。

中学部	高等部1段階	高等部2段階
13 注意して品物などの運搬をする。	13 製品や材料の長さや重さを測定器を使って測定する。	13 製品の規格を適切な測定器を使って正確に測定する。
14 簡単なこん包をしたり、荷をほどいたりする。	14 道具や機械を利用して、品物の運搬、移動をする。	14 道具や機械を利用して、決められた場所に正確に品物の運搬をする。
15 品物を並べたり、束ねたり、積み重ねたりする。	15 いろいろな物をこん包する。	15 道具や機械を使って品物を決められた手順でこん包する。
16 簡単な伝票への記入の仕方を知る。	16 品物を数えたり、束ねたり、積み重ねたりする。	16 品物を正確に数えたり、決められた通りに並べたり、束ねたり、積み重ねたりする。
17 合図を聞いて仕事を開始し、現場を離れる時には必ず報告をする。	17 仕事に関連する伝達、伝票記入などの簡単な実務を正確にする。	17 仕事に関連する帳簿や報告書などを理解し、記帳や読み取りなどの実務を正確に行う。
18 清掃の用具を使って、きれいに清掃をする。	18 簡単な図面を見たり書いたりする。	18 図面を見たり書いたりして作業を行う。
19 安全に関するいろいろな用語や表示に関心をもつ。	19 清掃の用具を使って、清掃やごみの処理をする。	19 用途に合った清掃用具を使い、手順に沿って清掃やごみ処理をする。
20 自分や他人の安全に注意して作業する。	20 安全に関する用語や表示の意味を理解する。	20 安全に関する手引書などを理解する。
21 危険な場所や物に気を付けて作業する。	21 自分や他人の安全に配慮して作業する。	21 自分や他人の安全を確保して作業する。
22 機械の故障や危険な状態を見つけたら、ただちに報告する。	22 危険な場所や状況に気を付けて作業する。	22 危険な場所や状況を考えて作業する。
23 仕事の内容と自分の分担が分かる。	23 機械の故障や危険な状態を見つけた場合、適切な対処をする。	23 機械のトラブルや危険な状態について点検し、それに応じて処置する。
24 分からないことについては質問して仕事をする。	24 分担された仕事を責任をもって最後までやる。	24 分担された仕事の役割を理解し、責任をもって最後までやる。
25 協力的な態度で仕事をする。	25 分からないことについては自分から質問して仕事をする。	25 仕事の進め方で、不明な点を明確にしてから質問する。
26 人の仕事には不必要な手出しや口出しをしない。	26 協力して仕事をする。	26 協力して効率的に仕事をする。
27 決められたことを守って作業する。	27 他人の作業ミスに気付いたら、そのことを相手に伝える。	27 他人の作業ミスに気付いたら、協力して処理に当たる。
28 職場見学などを通して、身の回りの製品が作られている様子を知る。	28 決まりや指示を守って作業する。	28 手順や指示、伝達を理解して作業する。
29 周りの地域や人々の職業に関心をもち、それらを知る。	29 職場見学などを通して、製品の生産工程を知る。	29 職場見学などを通して、製品の生産工程と流通過程を知る。
30 職場で働く人の姿を見て、卒業後の生活について関心をもつ。	30 様々な職業への知識を深める。	30 働くことの意義を自覚し、卒業後の生活について具体的な見通しをもつ。
31 職場にかかわる交通機関の利用について関心をもつ。	31 働くことの大切さや厳しさを知り、卒業後の生活について見通しをもつ。	31 職場までの通勤方法について知る。
32 自己の能力や適性のおおよそが分かり、進路について関心をもつ。	32 職場までの交通機関の利用について知る。	32 自己の能力や適性を理解し、それらが生かせる職業を選択する。
33 職業安定所や福祉事務所などの役割や利用の仕方について関心をもつ。	33 自己の能力や適性を理解し、進路について決定していく。	33 職業安定所や福祉事務所などを実際に利用する。
34 産業現場等における実習の意味を理解して、仕事をする。	34 職業安定所や福祉事務所などの役割が分かり、利用の仕方を知る。	34 就労後の自己研さんの方法が分かる。
35 実習先での決まりや分担を理解し、協力して仕事をする。	35 就労後の自己研さんの意味が分かる。	35 職場の組織や機構が分かり、組織の一員としての行動を理解する。
36 製品や収穫物の出来栄が分かる。	36 職場の組織や機構について関心をもつ。	36 労働時間と報酬の関係が分かる。
	37 労働と報酬の関係が分かる。	37 労働時間、賃金、福利厚生などの基本的な労働条件を理解し、進路選択の参考にする。
	38 労働時間、賃金、福利厚生などの基本的な労働条件を理解する。	38 保険制度や年金制度が職業制度の中で大切な事柄であることを理解する。
	39 保険制度や年金制度の概要を知る。	39 産業現場等における実習に積極的に取り組み、進路選択の参考にする。
	40 産業現場等における実習の意味を理解し、進んで仕事に取り組む。	40 実習先での決まりや分担を理解し、進んで協力しながら仕事をする。
	41 実習先での決まりや分担を理解し、協力して責任をもって仕事をする。	41 実習中の健康維持と安全確保を実践する。
	42 実習中の健康と安全に留意する。	42 生産物や製品の社会的有用性と流通や消費について理解する。
	43 実習先の生産物が社会でどのように利用されているか知る。	43 製品の良否の選別方法が分かり、不良品が出ないように工夫をする。
	44 製品の良否が分かり、不良品が出ないように注意する。	44 労災や職業病から自分を守る方法を知る。
	45 労災や職業病について知る。	

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
37 休憩時間の意味を知る。	46 休憩時間や休日の過ごし方を知る。	45 休憩時間の使い方や休日の計画的な過ごし方を知る。
38 卒業後の学校や同窓会とのつながりの大切さを知る。	47 職場でのサークル活動や厚生施設の利用方法を知る。	46 職場でのサークル活動や厚生施設の計画的な活用・利用の方法を理解する。
39 職場や家庭で様々な情報機器が使われていることを知る。	48 コピー機、ワープロなどの事務機器を取り扱い、簡単なコンピュータ制御の機械の入力をする。	47 コピー機、ワープロなどの事務機器を取り扱い、簡単なコンピュータ制御の機械の入力や操作をする。
40 電話やコピー機、ファクシミリなどの扱いに慣れる。	49 電話で用件を伝えたり受けたりする。	48 電話で用件を正確に伝えたり受けたりする。
41 電話で簡単な用件を伝えたり受けたりする。		49 職場での情報管理の方法が分かる。

〈内 容〉

(家 庭)

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 家族がそれぞれの役割を分担していることを理解し、楽しい家庭づくりをするために協力する。  (家庭生活における余暇の過ごし方が分かる。)	1 家族がそれぞれの役割を果たしていることを理解し、楽しい家庭づくりのための自分の役割を果たす。	1 家庭の機能や家族の役割を理解し、楽しい家庭づくりのために積極的に参加する。
2 家庭生活に必要な衣服とその着方、食事や調理、住まいや暮らし方などに関する基礎的な知識と技能を身に付ける。	2 家庭生活における計画的な消費や余暇の有効な過ごし方が分かる。 3 家庭生活中で使用する道具や器具などの正しい使い方が分かり、安全や衛生に気を付けながら実習する。 4 被服、食物、住居などに関する実習を通して、実地的な知識と技能を習得する。 5 保育や家庭看護などに関心をもつ。	2 生活の設計のために、計画的な消費や余暇利用の方法について理解を深め、実際の生活に生かす。 3 家庭生活中で使用する道具や器具を効率的に使用し、安全に実習する。 4 被服、食物、住居などに関する実習を通して、実地的な知識と技能を習得し、生活に生かす。 5 保育や家庭看護などに関する知識と技能を習得し、生活に生かす。

〈具体的内容〉

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 家庭での仕事の分担や支え合いがわかり、手伝いなどをする。	1 家庭で仕事を分担し、家族の一員としての自覚をもつ。	1 家庭で仕事を分担し、家族の一員としての役割を進んで果たす。
2 楽しく家族の団らんに加わる。	2 家族の団らんを楽しみ、お互いに認め合っていることが分かる。	2 家族の団らんに加わり、家族に思いやりの気持ちをもつ。
3 予定を立てて、見通しのある一日の生活を考える。	3 見通しをもった時間の有効な使い方を考える。 4 保育や家庭看護に関心をもち、それらの手伝いをする。	3 乳幼児や高齢者の簡単な世話や看護をする。
4 テレビ、音楽、ゲームなどを家族や友達と楽しむ。	5 スポーツ、音楽などの趣味を生かして、生活を楽しむ。	4 来客時での対応や礼儀正しい訪問をする。
5 来客への対応や親せき、友達の家を訪問する。	6 来客への適切な対応などをする。 7 結婚について理解する。	5 結婚についての基本的な内容を理解する。
6 品物の値段の意味が分かり、上手な買い物をする。	8 予算を立てて、計画的な買い物をする。	6 予算生活の必要性を理解し、計画的な貯蓄をする。
7 無駄遣いをしないで貯金する。	9 プリペイド・カードやキャッシングカードの意味が分かり、適切に利用する。	7 現金購入や分割購入などの意味が分かり、物品を計画的に購入する。
8 金銭の収支を簡単に記録する。	10 領収書などの意味を読み取り、家計簿に記録する。	8 家計の収入支出状況のおおよそを知り、家庭の経済計画に協力する。
9 いつでも清潔な衣服を身に付ける。	11 進んで清潔な衣服を身に付ける。	9 流行を取り入れながら自分の体に合った衣類を選ぶ。
10 自分で身なりを整え、簡単な日常着の手入れをする。	12 季節や温度、場所に応じた服装をする。	
11 洗濯の道具や洗剤の使い方が分かり、簡単な日常着の洗濯をする。	13 材料や汚れに応じた洗い方をする。	10 必要に応じてクリーニング店を利用する。

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
12: 簡単なアイロンがけをする。	14: 布地の性質に合わせたアイロンがけをする。	11: 衣類の整理や管理ができる。
13: ボタン付けをする。	15: 衣類のほつれなどを、まつり縫いや返し縫をして直す。	12: ミシンの使い方に慣れ、いろいろな物を縫う。
14: 布、針、糸を使って初歩的な縫い物や、簡単な手芸をする。	16: 型紙に合わせて裁断し、ミシンで簡単な小物や袋物を縫う。	13: 型紙の取り方が分かり、簡単な衣服を製作する。
15: 簡単な食品名や料理名が分かる。	17: 栄養素とその働きを知り、いろいろな食品を組み合わせる。	14: 一日に必要な食物の量や栄養が分かり、バランスのとれた食事をする。
16: 栄養を考えて、いろいろな食品を組み合わせる。		
17: 加工食品や半加工食品を知り、利用する。		
18: 食品の変質について知り、冷蔵庫などでの保存の仕方が分かる。	18: 製造年月日や賞味期限などを見て、新鮮な食品を選ぶ。	15: 添加物などに注意して食品を選ぶ。
19: 主食や副食などについて知る。	19: 冷蔵庫や冷凍庫を適切に使う。	16: 冷蔵庫や冷凍庫を適切に使い、食品の保存と管理をする。
	20: 衛生に気をつけて洗剤などを使う。	17: 食中毒などについて理解する。
20: 献立に合わせて必要な材料をそろえる。	21: 日常的な食品で、簡単な献立を立てる。	18: 日常食の献立を立てる。
	22: 献立に合わせた材料の買い物をする。	19: 値段や鮮度を考えて、材料を取りそろえる。
21: 食品の洗い方や切り方が分かり、簡単な調理をする。	23: 食品の洗い方、切り方、加熱の仕方が分かり、調理をする。	20: 食品の洗い方、切り方、加熱の仕方、味付けの仕方を工夫して、手順よく調理をする。
22: 代表的な調味料の使い方が分かる。	24: 献立に見合う調味料を適量使う。	21: 自分の好みに合わせて調味料を使う。
	25: 調理道具の用途を知り、適切に扱う。	22: 調理道具の手入れや管理をする。
23: 電機器具、ガス器具などの取り扱いに慣れる。	26: 電機器具、ガス器具などを適切に用いる。	23: 電機器具、ガス器具などの手入れをする。
24: 盛り付けや配膳をする。	27: 彩りや量を考えて、適切な器に盛り付ける。	24: 盛り付けなどを手際よくやる。
25: 準備や後片付けをする。	28: 手順を考えながら準備や後片付けをする。	25: 調理の準備や後片付けを手順よく行う。
26: 調理室の整理整頓をする。	29: 調理室の整理整頓をして、清潔を保つ。	
27: メニューの写真などを見て、食事の注文をする。	30: 献立表を見て、食事を注文する。	26: レストランなどで自分で注文してマナーを守って楽しく食べる。
28: マナーを守って楽しく食事をする。	31: 外食時などでの食事の作法を知る。	
29: 自分の持ち物を整理整頓する。	32: 工夫して持ち物を整理整頓する。	
30: 住まいの簡単な手入れなどの手伝いをする。	33: 住まいの簡単な手入れや室内の飾り付けを工夫する。	
31: 部屋の換気、採光、照明の仕方を知り、調節する。	34: 部屋の換気、採光、照明の仕方を知り、健康な環境への工夫をする。	
32: 照明器具、冷暖房器具を安全に扱う。	35: 照明器具、冷暖房器具を適切に使う。	27: 照明器具、冷暖房器具の手入れを行う。
33: 掃除機などで住居を清潔にする。	36: 家庭内の掃除をして、気持ちのよい生活を工夫する。	
34: ごみを分別する。	37: 決まりに従ってごみを分別し、適切に処理する。	28: 生活の中でごみを減らす工夫をする。
35: 掃除用の洗剤、殺虫剤などを安全に扱う。	38: 掃除用の洗剤、殺虫剤などの使用法を知り、適切に使う。	
36: 戸締まりや防火などの大切さを知り、事故のときは人に知らせる。	39: 戸締まりや防火などに注意し、事故の時は速やかに連絡する。	29: 防犯ベルや火災報知機の使用などの防災にかかわる知識を身に付ける。
37: 災害時には指示に従って行動する。	40: 災害に対する備えをしておく。	30: 地震、台風、洪水などの際の行動の仕方が分かる。

## 10. 外国語

中学部	高等部
-----	-----

目標：外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる。

外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度を育てるとともに、外国語や外国への関心を深める。

### 〈内 容〉

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 身近な生活の中で見聞きする英語に興味や関心をもつ。	1 簡単な英語を使って表現したり、やりとりしたりする。	1 初歩的な英語を使って簡単な会話をする。
2 簡単な英語を使って表現する。	2 簡単な語、句、文に興味や関心をもつ。	2 簡単な語、句、文を書いたり読んだりする。
	3 日常生活の中で見聞きする語や句の意味を知る。	3 簡単な語、句、文の意味を知る。

### 〈具体的内容〉

中学部	高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 外国のテレビ番組や物語などに興味をもち、見て楽しむ。	1 外国の人々と交流し、簡単な英語で答えようとする。	1 地域に住む外国人と積極的に交流をし、初歩的な英語を使って簡単な会話をする。
2 外国の人々と一緒に活動したり、ゲームをしたりして交流する。		
3 英語を話す人と交流し、英語を聞いて楽しむ。	2 英語の歌を歌ったり、簡単な英語を使ったゲームをしたりする。	2 会話に必要な適切な発音、文法に関心をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
	3 日用品や写真、絵などを使って、簡単な英語でのやり取りをする。	3 簡単な英語の手紙を書いたり、外国の生活の様子や物語が書いてある文章を読んだりする。
4 英語の文字に親しむ。CUT(アルファベットを使ったゲームをするなどして、アルファベットを読んだり書いたりする。)	4 日常生活でよく使われる日付、品物、数、活動などの語、句について英語で表現してみようとする。	4 正しい文字の形、つづりや符号の使い方に関心をもち、簡単な英語を積極的に読んだり書いたりする。
5 あいさつや英語の歌を聞いたり、簡単な英語の入ったゲームをしたりして楽しむ。	5 簡単な英語の語や句などを聞き分けたり、つづりを見分けて同じものを探したりする活動を通して、英語で表現することに興味や関心をもつ。	5 コンピュータを使って簡単な英語を書いたり、印刷したり、インターネット等で送信したりする。
6 全文 CUT(日常生活用品、パンフレット、新聞などに使われているアルファベットや簡単な語に興味をもち探す。)	6 コンピュータのアルファベットのキーで打ち込むことによって、英語の単語や文に親しむ。	6 日常生活や社会生活でよく使う会話や文に出てくる語や句の意味が分かる(食事に関する単語、家具、乗り物や建物の名称、自分の気持ちや動作を表す語や文等)。
7 やさしい英語のテレビ番組を見たり、コンピュータで文字当てゲームをしたりするなどして楽しむ。	7 パンフレットや新聞などでよく使われている国の名称の英語表記、看板や標識、生活の様子を表す語などの意味が分かる。	7 簡単な単語や句の意味を辞書を使って調べることに慣れる。
8 あいさつをしたり、身近な物品の名称、簡単な動作を表す言葉を英語で言ったりする(あいさつ、自分の名前、立つ、座るなど)。	8 生活場面でよく使われている英語の単語の意味を簡単な辞書で調べる。	
9 アルファベットや簡単な語の文字を書くことに興味をもち、なぞり書きする。		

## 11. 情報

### 高等部

目標：コンピュータ等の情報機器の操作の習得を図り、生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力や態度を育てる。

#### 〈内容〉

高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 日常生活の中で情報やコンピュータ等の情報機器が果たしている役割に関心をもつ。	1 生活の中で情報やコンピュータ等の情報機器が果たしている役割を知り、それらの活用に関心をもつ。
2 コンピュータなどの基礎操作に関心を持ち、簡単な操作をする。	2 コンピュータ等の情報機器の扱い方が分かり、操作する。
3 各種のソフトウェアに関心を持ち、実習をする。	3 各種のソフトウェアの操作に慣れ、実習をする。
4 コンピュータ等の情報機器を利用した情報の収集、処理及び発信に関心をもつ。	4 コンピュータ等の情報機器を利用した情報の収集、処理及び発信の方法が分かり、実際に活用する。
5 情報の取扱いに関するきまりやマナーがあることを知る。	5 情報の取扱いに関するきまりやマナーを理解し、それらを守って実習する。

#### 〈具体的内容〉

高等部 1 段階	高等部 2 段階
1 日常生活の中でのコンピュータなどの情報機器の果たしている役割に関心をもつ。	1 公共の機関や施設、銀行や商店、産業現場などでコンピュータなどの情報機器が活用され、事務処理や生産管理の効率化に役立っていることに関心をもつ。
2 コンピュータなどの機器の起動から終了までの操作の手順が分かり、操作する。	2 コンピュータやその周辺機器の基本操作が分かり、入力、出力、保存管理などをする。
3 ソフトウェアに関心を持ち、文書のソフトに文字を入力するなど、コンピュータの基本的な操作方法を知る。	
4 コンピュータなどの機器で、簡単な連絡文や日記などを作成したり、保存したりする。	3 文書ソフトと周辺機器のデジタルカメラなどを組み合わせ、日記を書いたり学級新聞を作成したりする。
5 コンピュータでソフトを使って簡単な絵を描くなどして、楽しさを味わう。	
6 アプリケーションソフトを使って、依頼文や礼状などを作成する。	4 表計算ソフトを使って、金銭の計算や製品の数量管理などに活用する。
7 インターネットに接続してホームページを閲覧する。	5 いろいろな観点からアプリケーションソフトを選択し、設定して活用する。
8 インターネットに接続する手続きにパスワードがあり、ホームページの閲覧などにアドレスがあることを知り、それらを適切に使用する。	6 インターネットに接続し、目的に合った情報を検索して生活に活用する。
9 インターネットに電子メールの受信・送信機能があることを知り、校内 LAN などを利用して通信する。	7 学校のホームページから、いろいろな情報を発信する。
	8 電子メールでいろいろな情報を受信・送信して、学習に活用する。
収集したり、発信したりする情報の取り扱いには、きまりやマナーがあることを知る。	9 収集したり、発信したりする情報の取り扱いに関するきまりやマナーを守って利用する。

※身体的内容については、「特殊教育教育課程学習指導手引書 — 基本方針 — (平成 14 年 1 月)」(長野県教育委員会)資料 2 知的障害養護学校の各教科の具体的内容(参考例)を改訂

## (2) 関係法規

### 教育基本法

平成 18年 12月 22日法律第 120号

我々日本国民は、たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献することを願うものである。

我々は、この理想を実現するため、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。

ここに、我々は、日本国憲法の精神にのっとり、我が国の未来を切り拓く教育の基本を確立し、その振興を図るため、この法律を制定する。

#### 第一章 教育の目的及び理念

(教育の目的)

第一条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

(教育の目標)

第二条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

(生涯学習の理念)

第三条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

(教育の機会均等)

第四条 すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない。人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。

- 2 国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。
- 3 国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。

#### 第二章 教育の実施に関する基本

(義務教育)

第五条 国民は、その保護する子に、別に法律で定めるところにより、普通教育を受けさせる義務を負う。

- 2 義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。
- 3 国及び地方公共団体は、義務教育の機会を保障し、その水準を確保するため、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。
- 4 国又は地方公共団体の設置する学校における義務教育については、授業料を徴収しない。

(学校教育)

第六条 法律に定める学校は、公の性質を有するものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。

- 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

(大 学)

第七条 大学は、学術の中心として、高い教養と専門的能力を培うとともに、深く真理を探究して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

2 大学については、自主性、自律性その他の大学における教育及び研究の特性が尊重されなければならない。

(私立学校)

第八条 私立学校の有する公の性質及び学校教育において果たす重要な役割にかんがみ、国及び地方公共団体は、その自主性を尊重しつつ、助成その他の適当な方法によって私立学校教育の振興に努めなければならない。

(教 員)

第九条 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

2 前項の教員については、その使命と職責の重要性にかんがみ、その身分は尊重され、待遇の適正が期せられるとともに、養成と研修の充実が図られなければならない。

(家庭教育)

第十条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

(幼児期の教育)

第十一条 幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。

(社会教育)

第十二条 個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

2 国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

(学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力)

第十三条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力を努めるものとする。

(政治教育)

第十四条 良識ある公民として必要な政治的教養は、教育上尊重されなければならない。

2 法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない。

(宗教教育)

第十五条 宗教に関する寛容の態度、宗教に関する一般的な教養及び宗教の社会生活における地位は、教育上尊重されなければならない。

2 国及び地方公共団体が設置する学校は、特定の宗教のための宗教教育その他宗教的活動をしてはならない。

### 第三章 教育行政

(教育行政)

第十六条 教育は、不当な支配に服することなく、この法律及び他の法律の定めるところにより行われるべきものであり、教育行政は、国と地方公共団体との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならない。

2 国は、全国的な教育の機会均等と教育水準の維持向上を図るため、教育に関する施策を総合的に策定し、実施しなければならない。

3 地方公共団体は、その地域における教育の振興を図るため、その実情に応じた教育に関する施策を策定し、実施しなければならない。

4 国及び地方公共団体は、教育が円滑かつ継続的に実施されるよう、必要な財政上の措置を講じなければならない。

(教育振興基本計画)

第十七条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

- 2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

#### 第四章 法令の制定

第十八条 この法律に規定する諸条項を実施するため、必要な法令が制定されなければならない。

## 学校教育法（抄）

昭和 22 年 3 月 31 日法律第 26 号  
一部改正：平成 19 年 6 月 27 日法律第 96 号

### 第二章 義務教育

第二十一条 義務教育として行われる普通教育は、教育基本法（平成十八年法律第二十号）第五条第二項に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 学校内外における社会的活動を促進し、自主、自律及び協同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 二 学校内外における自然体験活動を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 三 我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業その他の事項について基礎的な理解と技能を養うこと。
- 五 読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと。
- 六 生活に必要な数量的な関係を正しく理解し、処理する基礎的な能力を養うこと。
- 七 生活にかかわる自然現象について、観察及び実験を通じて、科学的に理解し、処理する基礎的な能力を養うこと。
- 八 健康、安全で幸福な生活のために必要な習慣を養うとともに、運動を通じて体力を養い、心身の調和的発達を図ること。
- 九 生活を明るく豊かにする音楽、美術、文芸その他の芸術について基礎的な理解と技能を養うこと。
- 十 職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと。

### 第三章 幼稚園

第二十二条 幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健全な成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

第二十三条 幼稚園における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
- 二 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
- 三 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
- 四 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。
- 五 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。

第二十四条 幼稚園においては、第二十二条に規定する目的を実現するための教育を行うほか、幼児期の教育に関する各般の問題につき、保護者及び地域住民その他の関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うなど、家庭及び地域における幼児期の教育の支援に努めるものとする。

第二十五条 幼稚園の教育課程その他の保育内容に関する事項は、第二十二条及び第二十三条の規定に従い、文部科学大臣が定める。

第二十六条 幼稚園に入園することのできる者は、満三歳から、小学校就学の始期に達するまでの幼児とする。

### 第四章 小学校

第二十九条 小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施

すことを目的とする。

第三十条 小学校における教育は、前条に規定する目的を実現するために必要な程度において第21条各号に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

第三十一条 小学校においては、前条第一項の規定による目標の達成に資するよう、教育指導を行うに当たり、児童の体験的な学習活動、特にボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の充実に努めるものとする。この場合において、社会教育関係団体その他の関係団体及び関係機関との連携に十分配慮しなければならない。

## 第五章 中学校

第四十五条 中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。

第四十六条 中学校における教育は、前条に規定する目的を実現するため、第21条各号に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

## 第六章 高等学校

第五十条 高等学校は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。

第五十一条 高等学校における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一 義務教育として行われる普通教育の成果を更に発展拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健全な身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。

二 社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること。

三 個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。

## 第七章 中等教育学校(略)

## 第八章 特別支援教育

第七十二条 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

第七十四条 特別支援学校においては、第七十二条に規定する目的を実現するための教育を行うほか、幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校の要請に応じて、第八十一条第一項に規定する幼児、児童又は生徒の教育に関し必要な助言又は援助を行うよう努めるものとする。

第七十七条 特別支援学校の幼稚部の教育課程その他の保育内容、小学部及び中学部の教育課程又は高等部の学科及び教育課程に関する事項は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じて、文部科学大臣が定める。

第八十一条 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校においては、次項各号のいずれかに該当する幼児、児童及び生徒その他教育上特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対し、文部科学大臣の定めるところにより、障害による学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うものとする。

② 小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校には、次の各号のいずれかに該当する児童及び生徒のために、特別支援学級を置くことができる。

一 知的障害者

二 肢体不自由者

三 身体虚弱者

四 弱視者

五 難聴者

六 その他障害のある者で、特別支援学級において教育を行うことが適当なもの

③ 前項に規定する学校においては、疾病により療養中の児童及び生徒に対して、特別支援学級を設け、又は教員を派遣して、教育を行うことができる。